

令和 7 年度

第122号 普通河川畑井川(1工区) 河川災害復旧工事

---

庄原市東城町粟田(鈷原橋上)

地内

---

工 事 価 格

---

消 費 税 相 当 額

---

工 事 費 計

---

# 工 事 概 要

工 事 名	第122号 普通河川 畑井川(1工区) 河川災害復旧工事						
施 行 箇 所	庄原市東城町栗田 (鈺原橋上)						
工 事 概 要	費目工種	工 種	種 別 ・ 細 別	数 量		単 位	摘 要
				当 初	変 更		
		復旧延長 L=		90.5		m	
		復旧延長 (左岸) L=		83.0		m	
		復旧延長 (右岸) L=		7.5		m	
	土工	掘削工		240.0		m3	
	擁壁工	コンクリートブロック積工 (河川用控50cm)		274.0		m2	
	根固め工	根固めブロック工 (平型1.0 t)		180.0		m2	
	植生工	底張コンクリート工		20.0		m2	
	仮設工	植生工 (野芝)		10.0		m2	
		工事用道路工 (盛土)	-		m		

## 積算情報

工事名	第122号 普通河川畑井川(1工区) 河川災害復旧工事		
執行年度	令和 7 年度	諸経費区分	公共 令和06年度
工種区分	河川工事	変更回数	
単価適用年月日	令和 7年 5月 1日付 公共	単価地区	53:庄原市(旧東城町)
機損適用年月日	令和 6年度 公共・林道	歩掛適用年月日	令和 6年 8月 公共

## 補正情報

施工地域及び 工事場所による補正率	共通仮設費 …………… 補正無し 現場管理費 …………… 補正無し
現場環境改善費	計上しない
冬期補正	冬期補正無 ( 0.00 % )
緊急工事補正	緊急工事補正無
前払支出割合区分	35%を超え40%以下
契約保証に係る補正	契約保証に係る補正を行わない

## 本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
河川工事02	1	式				
築堤・護岸	1	式			Lv1	
河川土工	1	式			Lv2	処:
掘削工	1	式			Lv3	処:
掘削	1	式			Lv4	
掘削 小規模 土砂 標準	240	m3			P 1号	
盛土工	1	式			Lv3	
路体(築堤)盛土	1	式			Lv4	
路体(築堤)盛土 2.5m未満	30	m3			P 2号	
法面整形工	1	式			Lv3	
法面整形(盛土部)	1	式			Lv4	
法面整形 盛土部 均質土、砂及び砂質土、粘性土 法面締固め無し 現場制約無し	10	m2			P 3号	

## 本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
残土処理工	1	式			Lv3	処:
土砂等運搬	1	式			Lv4	
土砂等運搬 小規模 八ッ杓山積0.13m3(平積0.1m3) 土砂 12.0km以下 DID区間無 雑損耗費(良好)含む	290	m3			P 4号	
残土等処分	1	式			Lv4	処:
建設発生土受入費 砂・砂質土・礫質土 (株)宮田木材光森処分場 受入地 庄原市東城町	290	m3				処:
護岸基礎工	1	式			Lv2	
作業土工	1	式			Lv3	
床掘り	1	式			Lv4	
床掘り 土砂 小規模	130	m3			P 5号	
埋戻し	1	式			Lv4	
埋戻し(ルーズ) 土砂	30	m3			単 6号	
埋戻し(コンクリート)	6	m3			明 7号	

## 本 工 事 費 内 訳 書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	明細単価番号	基準
法覆護岸工	1	式			Lv2	
コンクリートブロック工(コンクリートブロック積)	1	式			Lv3	
コンクリートブロック基礎	1	式			Lv4	
1号基礎工(控え50cm) 1:0.4	75	m			単 8号	
2号基礎工(控え75cm) 1:0.3	2	m			単 9号	
大型ブロック積	1	式			Lv4	
1号 中空型ブロック(河川用) 控500	274	m2			単 10号	
2号 ブロック積 控750	5	m2			単 11号	
胴込・裏込材(碎石)	1	式			Lv4	
胴込・裏込材(碎石) 大型ブロック 再生碎石 RC-40	150	m3			P 12号	
胴込・裏込材(碎石) 大型ブロック 割ぐり石(150~50mm)	70	m3			P 13号	

## 本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
胴込・裏込コンクリート 大型ブロック 2,000kg/個以下 18-8-40高炉60%	2	m3			P 14 号	
吸出し防止材(全面)設置	1	式			Lv4	
吸出し防止材(全面)設置	274	m2			P 15 号	
天端コンクリート	1	式			Lv4	
1号天端コンクリート 控50cm	74	m			単 16 号	
2号天端コンクリート 控75cm	3	m			単 17 号	
小口止コンクリート	1	式			Lv4	
1号小口止工	1	箇所			単 18 号	
2号小口止工	1	箇所			単 19 号	
3号小口止工	1	箇所			単 20 号	
4号小口止工	1	箇所			単 21 号	

## 本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
5号小口止工	1	箇所			単 22 号	
6号小口止工	1	箇所			単 23 号	
7号小口止工	1	箇所			単 24 号	
間切ｺﾝｸﾘｰﾄ	1	式			Lv4	
1号間切工	1	箇所			単 25 号	
2号間切工	1	箇所			単 26 号	
植生工	1	式			Lv3	
張芝	1	式			Lv4	
張芝工 施工規模100m2未満 時間制約無	10	m2			施 27 号	
根固め工	1	式			Lv2	
根固めﾌﾞｯｸ工	1	式			Lv3	
根固めﾌﾞｯｸ据付	1	式			Lv4	

## 本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
平ブロック張 150kg/個未満 遮水シート無 吸出防止材有 連結金具無	180	m2			P 28 号	
間詰工	1	式			Lv3	
間詰コンクリート	1	式			Lv4	
間詰コンクリート	5	m3			単 29 号	
中詰栗石	1	式			Lv4	
割ぐり石 150～50mm	9	m3				
護床工	1	式			Lv2	
底張工	1	式			Lv3	
底張コンクリート	1	式			Lv4	
底張コンクリート	20	m2			単 30 号	
捨コンクリート	1	式			Lv4	
捨コンクリート	17	m2			単 31 号	

## 本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
雑工	1	式			Lv2	
雑工(すり付工)	1	式			Lv3	
すり付工	1	式			Lv4	
すり付工 練石積	27	m2			単 32号	
構造物撤去工	1	式			Lv2	処:
運搬処理工	1	式			Lv3	処:
殻運搬	1	式			Lv4	
構造物とりこわし 無筋構造物 機械施工 昼間 時間制約無 低騒音・低振動対策不要	8	m3			施 33号	
殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし 機械積込 34.3km以下 DID区間無 夕作損耗費(良好)含む	13	m3			P 34号	
殻処分	1	式			Lv4	処:
再資源化施設受入費 コ块(無筋) 10t,4t,2t 西城運輸砕石(株) 妙見山工場 庄原市西城町	31	t				処:
仮設工	1	式			Lv2	処:

## 本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土留・仮締切工	1	式			Lv3	処:
土のう	1	式			Lv4	処:
大型土のう製作・設置・撤去	20	袋			単 35 号	処:
仮締切工	1	式			Lv4	
架樋工 300	23	m			単 36 号	
架樋工 400	164	m			単 37 号	
水替工	1	式			Lv3	
ポンプ排水	1	式			Lv4	
ポンプ設置・撤去	5	箇所			施 38 号	
ポンプ運転 作業時排水 排水量0以上40m3/h未満		日			施 39 号	
廃プラスチック処理工	1	式			Lv3	処:
運搬処分	1	式			Lv4	処:

## 本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付2t級 吊能力2.9t DID区間無 運搬距離49.0km以下	0.04	t			P 40 号	
廃プラスチック受入費 大型土のう袋 見積	20	袋				処:
直接工事費計						
共通仮設費計						
共通仮設費(率化)	1	式				
共通仮設費率分	1	式				
純工事費	1	式				
現場管理費	1	式				
工事原価	1	式				
一般管理費等	1	式				
工事価格	1	式				金銭的保証を必要としない
消費税等相当額	1	式				
	1	式				



令和7年度 第122号 普通河川畑井川(1工区)河川災害復旧工事

【 第 1号 施工パッケージ 】							
掘削 小規模 土砂 標準							1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			27.26				
バックホ(クロー型)[標準型・排対型:2次基準] 標準バックホ 山積0.28m3[平積0.2m3]			27.26				
【労務】			61.70				
運転手(特殊)			61.70				
【材料】			11.04				
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油			11.04				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 土質 土砂 [J6] = 7 施工数量 標準				[J2] = 5 施工方法 上記以外(小規模)			

令和7年度 第122号 普通河川畑井川(1工区)河川災害復旧工事

【 第 2号 施工パッケージ 】 路体(築堤)盛土 2.5m未満								1	m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準		
【機械】			0.70						
<賃>振動ローラ(ハンドガイド式) 質量0.8~1.1t			0.70						
【労務】			99.06						
普通作業員			90.63						
特殊作業員			8.43						
【材料】			0.24						
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油			0.24						
【端数調整】									
[条件] [J1] = 1 施工幅員 2.5m未満									

令和7年度 第122号 普通河川畑井川(1工区)河川災害復旧工事

【 第 3 号 施工パッケージ 】							
法面整形 盛土部 土質土、砂及び砂質土、粘性土 (法面締固め無し ,現場制約無し )							1 m2 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			12.42				
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014			12.42				
【労務】			75.20				
普通作業員			33.11				
運転手(特殊)			28.76				
土木一般世話役			13.33				
【材料】			12.38				
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油			12.38				
【端数調整】							
[条件]							
[J1] = 1 整形箇所 盛土部				[J2] = 2 法面締固めの有無 法面締固め無し			
[J3] = 2 現場制約の有無 現場制約無し				[J4] = 1 土質 土質土、砂及び砂質土、粘性土			
[J5] = 1 費用の内訳 全ての費用							

令和7年度 第122号 普通河川畑井川(1工区)河川災害復旧工事

【 第 4 号 施工パッケージ 】							
土砂等運搬 小規模 バックホウ山積0.13m3(平積0.1m3) 土砂 (12.0km以下 DID区間無 , 夕俣損耗費(良好)含む )							1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			18.57				
ダンプトラック[オート・ティール] 2t積級			18.57				
【労務】			72.35				
運転手(一般)			72.35				
【材料】			9.08				
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油			9.08				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 2 土砂等発生現場 小規模 [J3] = 1 土質 土砂(岩塊・玉石混り土含む) [JF] = 11 運搬距離 12.0km以下				[J2] = 6 積込機種・規格 バックホウ山積0.13m3(平積0.1m3) [J4] = 1 DID区間の有無 DID区間無			

令和7年度 第122号 普通河川畑井川(1工区)河川災害復旧工事

【第 5号 施工パッケージ】 床掘り 土砂 小規模								1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準	
【機械】			19.87					
バックホ(クロー型)[後方超小旋回型・排対:2次] 標準バックホ 山積0.28m3[平積0.2m3]			19.87					
【労務】			72.99					
運転手(特殊)			39.96					
普通作業員			33.03					
【材料】			7.14					
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油			7.14					
【端数調整】								
[条件] [J1] = 1 土質 土砂 [J5] = 1 費用の内訳 全ての費用				[J2] = 5 施工方法 上記以外(小規模)				













令和7年度 第122号 普通河川畑井川(1工区)河川災害復旧工事

【 第 12 号 施工パッケージ 】							
胴込・裏込材(砕石) 大型ブロック (再生砕石 RC-40 , )							1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			6.97				
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014			6.97				
【労務】			54.68				
普通作業員			31.20				
特殊作業員			13.92				
運転手(特殊)			8.66				
その他(労務)							
【材料】			38.35				
再生クラッシャー 40~0mm			35.35				
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油			3.00				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 2 ブロックの種類 大型ブロック				[J2] = 1 胴込・裏込材規格 再生砕石 RC-40			

令和7年度 第122号 普通河川畑井川(1工区)河川災害復旧工事

【第13号 施工パッケージ】							
胴込・裏込材(砕石) 大型ブロック (割ぐり石(150~50mm) , )							1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			6.97				
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014			6.97				
【労務】			54.68				
普通作業員			31.20				
特殊作業員			13.92				
運転手(特殊)			8.66				
その他(労務)							
【材料】			38.35				
割ぐり石 150~50mm			35.35				
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油			3.00				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 2 ブロックの種類 大型ブロック				[J2] = 5 胴込・裏込材規格 割ぐり石(150~50mm)			

令和7年度 第122号 普通河川畑井川(1工区)河川災害復旧工事

【第14号 施工パッケージ】							
胴込・裏込コンクリート 大型ブロック 2,000kg/個以下 (18-8-40高炉60% , )							1 m3 当り
名称・規格	金額構成比(%)	金額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基準
【機械】			3.26				
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014			3.26				
【労務】			26.24				
特殊作業員			11.15				
普通作業員			9.15				
運転手(特殊)			3.91				
その他(労務)							
【材料】			70.50				
レディーミクストコンクリート指定品 18-8-40 W/C(60%),高炉			69.17				
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油			1.33				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 2 ブロッキの種類 大型ブロック				[J2] = 1 ブロッキの質量 2,000kg/個以下			



令和7年度 第122号 普通河川畑井川(1工区)河川災害復旧工事

【 第 15 号 施工パッケージ 】 吸出し防止材(全面)設置								1	m2 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準		
【労務】			24.39						
普通作業員			21.19						
土木一般世話役			3.20						
【材料】			75.61						
不織布(合織) 厚10mm,強度9.8kN/m			75.61						
【端数調整】									
[条件] [y1] = 1 吸出し防止材規格 不織布(合織) 厚10mm 9.8kN/m									





【 第 18 号 単価表 】						
1号小口止工						
1 箇所 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
コンクリートパッキン(クレン機能付)打設 小型構造物 18-8-40高炉60% 一般養生	0.97	m3			P 47 号	
型枠 一般型枠 小型構造物	6.65	m2			P 48 号	
型枠 化粧型枠 小型構造物	1.09	m2			P 49 号	
化粧型枠 25×1178×880(ハツ石割肌風)	1.09	m2				
計						
単位当たり						

【 第 19 号 単価表 】						
2号小口止工						
1 箇所 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
コンクリートパッキ材(クレン機能付)打設 小型構造物 18-8-40高炉60% 一般養生	0.63	m3			P 47 号	
型枠 一般型枠 小型構造物	4.35	m2			P 48 号	
型枠 化粧型枠 小型構造物	0.58	m2			P 49 号	
化粧型枠 25×1178×880(ハツ石割肌風)	0.58	m2				
計						
単位当たり						

【 第 20 号 単価表 】						
3号小口止工						
1 箇所 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
コンクリート バック材(クレーン機能付)打設 小型構造物 18-8-40高炉60% 一般養生	0.79	m3			P 47 号	
型枠 一般型枠 小型構造物	5.43	m2			P 48 号	
型枠 化粧型枠 小型構造物	0.74	m2			P 49 号	
化粧型枠 25×1178×880(ハツ石割肌風)	0.74	m2				
計						
単位当たり						

【 第 21 号 単価表 】						
4号小口止工						
1 箇所 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
コンクリート バック材(クレン機能付)打設 小型構造物 18-8-40高炉60% 一般養生	0.97	m3			P 47 号	
型枠 一般型枠 小型構造物	6.6	m2			P 48 号	
型枠 化粧型枠 小型構造物	0.9	m2			P 49 号	
化粧型枠 25×1178×880(ハツ石割肌風)	0.9	m2				
計						
単位当たり						

【 第 22 号 単価表 】						
5号小口止工						
1 箇所 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
コンクリート バック材(クレーン機能付)打設 小型構造物 18-8-40高炉60% 一般養生	1.04	m3			P 47 号	
型枠 一般型枠 小型構造物	7.08	m2			P 48 号	
型枠 化粧型枠 小型構造物	0.97	m2			P 49 号	
化粧型枠 25×1178×880(ハツ石割肌風)	0.97	m2				
計						
単位当たり						

【 第 23 号 単価表 】						
6号小口止工						
1 箇所 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
コンクリートパッキ材(クレン機能付)打設 小型構造物 18-8-40高炉60% 一般養生	0.71	m3			P 47 号	
型枠 一般型枠 小型構造物	4.89	m2			P 48 号	
型枠 化粧型枠 小型構造物	0.66	m2			P 49 号	
化粧型枠 25×1178×880(ハツ石割肌風)	0.66	m2				
計						
単位当たり						

【 第 24 号 単価表 】						
7号小口止工						
1 箇所 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
コンクリートパッキン(クレン機能付)打設 小型構造物 18-8-40高炉60% 一般養生	0.85	m3			P 47 号	
型枠 一般型枠 小型構造物	5.83	m2			P 48 号	
型枠 化粧型枠 小型構造物	0.79	m2			P 49 号	
化粧型枠 25×1178×880(ハツ石割肌風)	0.79	m2				
計						
単位当たり						

令和7年度 第122号 普通河川畑井川(1工区)河川災害復旧工事

【 第 25 号 単価表 】						
1号間切工						
1 箇所 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
コンクリート バック材(クレーン機能付)打設 小型構造物 18-8-40高炉60% 一般養生	0.94	m3			P 47 号	
型枠 一般型枠 小型構造物	6.42	m2			P 48 号	
型枠 化粧型枠 小型構造物	0.87	m2			P 49 号	
化粧型枠 25×1178×880(ハツ石割肌風)	0.87	m2				
計						
単位当たり						

【 第 26 号 単価表 】						
2号間切工						
1 箇所 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
コンクリートパッキン(クレン機能付)打設 小型構造物 18-8-40高炉60% 一般養生	1.02	m3			P 47 号	
型枠 一般型枠 小型構造物	6.95	m2			P 48 号	
型枠 化粧型枠 小型構造物	0.95	m2			P 49 号	
化粧型枠 25×1178×880(ハツ石割肌風)	0.95	m2				
計						
単位当たり						

令和7年度 第122号 普通河川畑井川(1工区)河川災害復旧工事

【第27号 施工単価表】						
張芝工 施工規模100m2未満 (時間制約無 )						1 m2 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
法面工 植生工(人力施工) 張芝工 野芝・高麗芝(全面張) 【材工共】	1	m2				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 6 工種 張芝工		[B] = 8	施工規模 施工規模100m2未満			
[C] = 1 時間制約 時間制約無						

令和7年度 第122号 普通河川畑井川(1工区)河川災害復旧工事

【 第 28 号 施工パッケージ 】							
平ブロック張 150kg/個未満 遮水シート無 吸出防止材有 連結金具無							1 m2 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			3.10				
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014			3.10				
【労務】			32.52				
普通作業員			16.10				
運転手(特殊)			6.43				
土木一般世話役			3.69				
ブロック工			3.20				
[参考値] その他(労務)							
【材料】			64.38				
床張ブロック 参考:床張2号			53.26				
不織布(合織) 厚10mm,強度9.8kN/m			7.92				
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油			3.20				









令和7年度 第122号 普通河川畑井川(1工区)河川災害復旧工事

【 第 32 号 単価表 】						
すり付工 練石積						10 m2 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
石積(張) 積工 練石 玉石	10	m2			P 51 号	
胴込・裏込コンクリート 積工 18-8-40高炉60%	1.17	m3			P 52 号	
野面石採取 控長35cm	10	m2			施 53 号	
計						
単位当たり						

【 第 33 号 施工単価表 】						
構造物とりこわし 無筋構造物 機械施工 (昼間 時間制約無 , 低騒音・低振動対策不要 )						1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
昼間_無筋構造物【手間のみ】 機械施工 時間的制約なし 構造物とりこわし工	1	m3				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 1 構造物区分 無筋構造物			[B] = 1 工法区分 機械施工			
[C] = 3 時間的制約の有無 時間制約無			[D] = 2 夜間作業の有無 夜間作業無			
[E] = 2 低騒音・低振動対策 低騒音・低振動対策不要						

令和7年度 第122号 普通河川畑井川(1工区)河川災害復旧工事

【 第 34 号 施工パッケージ 】							
殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし 機械積込 (34.3km以下 DID区間無 ,タ仲損耗費(良好)含む )							
1 m3 当り							
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			41.69				
ダンプトラック[オロト・ディーゼル] 10t積級			41.69				
【労務】			43.88				
運転手(一般)			43.88				
【材料】			14.43				
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油			14.43				
【端数調整】							
[条件]							
[J1] = 1 殻発生作業 コンクリート(無筋)構造物とりこわし				[J2] = 1 積込工法区分 機械積込			
[J3] = 1 DID区間の有無 DID区間無				[JE] = 10 運搬距離 34.3km以下			
[JJ] = 1 費用の内訳 全ての費用							

【 第 35 号 単価表 】						
大型土のう製作・設置・撤去						
10 袋 当り						
( , 処: )						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
購入土(土砂2)						
見積	10	m3				
土砂等運搬 標準バック山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂 15.5km以下 DID区間無 夕作損耗費(良好)含む	8.33	m3			P 54 号	
大型土のう製作・設置 設置作業半径6m以下	10	袋			施 55 号	
大型土のう撤去 設置作業半径6m以下	10	袋			施 56 号	
土砂等運搬 標準バック山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂 11.5km以下 DID区間無 夕作損耗費(良好)含む	8.33	m3			P 57 号	
建設発生土受入費 砂・砂質土・礫質土 (株)宮田木材光森処分場 受入地 庄原市東城町	8.33	m3				処:
計						
単位当たり						





令和7年度 第122号 普通河川畑井川(1工区)河川災害復旧工事

【 第 38 号 施工単価表 】						
ポンプ設置・撤去						1 箇所 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホウ運転(クレーン機能付)(賃料) 加-ヲ型 山積0.8m3(平積0.6) 排対型:3次基準		日				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [Xc] = 4 バックホウ規格区分 排対型:3次基準						

【 第 39 号 施工単価表 】						
ポンプ運転 作業時排水 排水量0以上40m3/h未満						1 日 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人				
工事用水中ポンプ運転(賃料) 口径150mm 全揚程10m 発動発電機		日				
発動発電機運転(賃料) ディゼ 25kVA 排対型:3次基準		日				
諸 雑 費 (率 + 丸め)						
労務費、賃料 及び運転経費の% 計		%				
単位当たり						
[条件]						
[A] = 1 排水量(m3/h)区分 排水量0以上40m3/h未満			[B] = 1 排水方法 作業時排水			
[C] = 1 全揚程規格 全揚程10m			[Xc] = 4 発動発電機規格区分 排対型:3次基準			

令和7年度 第122号 普通河川畑井川(1工区)河川災害復旧工事

【 第 40 号 施工パッケージ 】							
現場発生産品及び支給品運搬 クレーン装置付2t級 吊能力2.9t							1 t 当り
(DID区間無 ,運搬距離49.0km以下 )							
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			13.58				
トラック[クレーン装置付] ^ -トラック2t積 吊能力2.9t			13.58				
【労務】			83.54				
運転手(特殊)			42.54				
特殊作業員			41.00				
【材料】			2.88				
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油			2.88				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 トラック機種 クレーン装置付2t級 吊能力2.9t [J5] = 14 片道運搬距離(km) 49.0km以下				[J4] = 1 DID区間の有無 DID区間無			

令和7年度 第122号 普通河川畑井川(1工区)河川災害復旧工事

【第41号施工パッケージ】 積込(ルーズ)土砂 小規模(標準) <span style="float: right;">1 m3 当り</span>							
名称・規格	金額構成比(%)	金額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基準
【機械】			27.26				
バックホウ(クロー型)[標準型・排対型:2次基準] 標準バックホウ 山積0.28m3[平積0.2m3]			27.26				
【労務】			61.70				
運転手(特殊)			61.70				
【材料】			11.04				
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油			11.04				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 土質 土砂			[J2] = 4	作業内容 小規模(標準)			

令和7年度 第122号 普通河川畑井川(1工区)河川災害復旧工事

【 第 42 号 施工パッケージ 】							
コンクリート 人力打設 無筋・鉄筋構造物 (18-8-40高炉60% ,一般養生 )							1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【労務】			29.40				
普通作業員			13.20				
特殊作業員			7.51				
土木一般世話役			6.69				
その他(労務)							
【材料】			70.60				
レディーミクストコンクリート指定品 18-8-40 W/C(60%) ,高炉			70.60				
【端数調整】							
[条件]							
[J1] = 1 構造物種別 無筋・鉄筋構造物			[J9] = 3 打設工法 人力打設				
[N1] = 32 コンクリート規格 18-8-40(高炉)W/C60%			[J5] = 2 養生工の種類 一般養生				
[J7] = 2 現場内小運搬の有無 無し			[JB] = 1 費用の内訳 全ての費用				
[N3] = 1 生コン小型車割増 小型車割増なし							

令和7年度 第122号 普通河川畑井川(1工区)河川災害復旧工事

【 第 43 号 施工パッケージ 】							
現場打基礎コンクリート 基礎砕石有 (18-8-40高炉60% ,一般・特殊養生(練炭) )							1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			2.24				
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014			1.58				
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014			0.66				
【労務】			68.05				
普通作業員			18.97				
型わく工			17.71				
特殊作業員			10.31				
土木一般世話役			10.24				
その他(労務)							
【材料】			29.71				
レディーミクストコンクリート指定品 18-8-40 W/C(60%),高炉			25.18				
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油			1.49				



令和7年度 第122号 普通河川畑井川(1工区)河川災害復旧工事

【 第 44 号 施工パッケージ 】							
大型ブロック積 2,000kg/個以下 水抜きバ <sup>o</sup> イ <sup>o</sup> 無し							
1 m2 当り							
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			2.71				
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014			2.71				
【労務】			17.36				
運転手(特殊)			5.62				
普通作業員			3.88				
ブロック工			3.36				
[参考値] 土木一般世話役			2.34				
その他(労務)							
【材料】			79.93				
ブロック積(空積) 控長50cm 2,000kg/個以下			77.19				
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油			2.74				
【端数調整】							



令和7年度 第122号 普通河川畑井川(1工区)河川災害復旧工事

【 第 45 号 施工パッケージ 】							
大型ブロック積 2,000kg/個以下 水抜きバ <sup>o</sup> イ <sup>o</sup> 無し							1 m2 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			2.71				
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014			2.71				
【労務】			17.36				
運転手(特殊)			5.62				
普通作業員			3.88				
ブロック工			3.36				
[参考値] 土木一般世話役			2.34				
その他(労務)							
【材料】			79.93				
ブロック積(練積) 控長75cm 2,000kg/個以下			77.19				
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油			2.74				
【端数調整】							



令和7年度 第122号 普通河川畑井川(1工区)河川災害復旧工事

【 第 46 号 施工パッケージ 】							
現場打天端コンクリート							1 m3 当り
(18-8-20(25)高炉60% ,一般養生 )							
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			2.63				
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014			2.63				
【労務】			64.40				
型わく工			21.70				
普通作業員			15.37				
土木一般世話役			10.81				
特殊作業員			7.44				
その他(労務)							
【材料】			32.97				
レディーミクストコンクリート指定品 18-8-20(25) W/C(60%),高炉			31.42				
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油			1.55				
【端数調整】							



令和7年度 第122号 普通河川畑井川(1工区)河川災害復旧工事

【 第 47 号 施工パッケージ 】							
コンクリート バックホウ(クレーン機能付)打設 小型構造物							
(18-8-40高炉60% ,一般養生 )							
1 m3 当り							
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			3.69				
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014			3.49				
その他(機械)							
【労務】			37.88				
普通作業員			11.17				
特殊作業員			10.01				
土木一般世話役			7.75				
運転手(特殊)			6.47				
その他(労務)							
【材料】			58.43				
レディーミクストコンクリート指定品 18-8-40 W/C(60%),高炉			56.64				
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油			1.69				



令和7年度 第122号 普通河川畑井川(1工区)河川災害復旧工事

【 第 48 号 施工パッケージ 】							
型枠 一般型枠 小型構造物							1 m2 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【労務】			100.00				
型わく工			43.77				
普通作業員			31.27				
土木一般世話役			11.92				
その他(労務)							
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 型枠の種類 一般型枠			[J2] = 2 構造物の種類 小型構造物				

令和7年度 第122号 普通河川畑井川(1工区)河川災害復旧工事

【 第 49 号 施工パッケージ 】							
型枠 化粧型枠 小型構造物							1 m2 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【労務】			100.00				
型わく工			32.19				
普通作業員			22.99				
土木一般世話役			8.76				
その他(労務)							
【端数調整】							
[条件] [J1] = 2 型枠の種類 化粧型枠			[J2] = 2 構造物の種類 小型構造物				

令和7年度 第122号 普通河川畑井川(1工区)河川災害復旧工事

【 第 50 号 施工パッケージ 】							
コンクリート バックホウ(クレーン機能付)打設 無筋・鉄筋構造物							
(18-8-40高炉60% ,一般養生 )							
1 m3 当り							
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			3.79				
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014			3.58				
その他(機械)							
【労務】			35.68				
特殊作業員			10.28				
普通作業員			9.55				
土木一般世話役			7.10				
運転手(特殊)			6.64				
その他(労務)							
【材料】			60.53				
レディーミクストコンクリート指定品 18-8-40 W/C(60%),高炉			58.70				
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油			1.73				



令和7年度 第122号 普通河川畑井川(1工区)河川災害復旧工事

【 第 51 号 施工パッケージ 】							
石積(張) 積工 練石 玉石							1 m2 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			7.13				
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.28m3(平積0.2)吊能力1.7t 排対型1,2,3次 低騒音			7.13				
【労務】			89.53				
普通作業員			44.18				
運転手(特殊)			25.59				
石工			14.91				
[参考値] 土木一般世話役			4.85				
【材料】			3.34				
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油			3.34				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 積張の区分 積工 [J3] = 1 石の種類 玉石			[J2] = 1 構造区分 練石				

令和7年度 第122号 普通河川畑井川(1工区)河川災害復旧工事

【第 52号 施工パッケージ】 胴込・裏込コンクリート 積工 (18-8-40高炉60% )								1	m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準		
【機械】			1.99						
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.28m3(平積0.2)吊能力1.7t 排対型1,2,3次 低騒音			1.99						
【労務】			29.96						
普通作業員			11.58						
特殊作業員			10.35						
運転手(特殊)			7.16						
その他(労務)									
【材料】			68.05						
レディーミクストコンクリート指定品 18-8-40 W/C(60%),高炉			67.12						
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油			0.93						
【端数調整】									
[条件] [J1] = 1 積張の区分 積工									
				[N1] = 7 胴込・裏込コンクリート規格 18-8-40(高炉)W/C60%					



令和7年度 第122号 普通河川畑井川(1工区)河川災害復旧工事

【 第 53 号 施工単価表 】						
野面石採取 控長35cm						1 m2 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
普通作業員		人				
諸 雑 費 (丸め)						
計	1	式				
単位当たり						
[条件]						
[A] = 5 石種別 野面石採取			[B] = 2 控長 35cm			
[C] = 0.000 % 補正值			[SF] = 2 山林砂防工(普通作業員) 普通作業員			

令和7年度 第122号 普通河川畑井川(1工区)河川災害復旧工事

【 第 54 号 施工パッケージ 】							
土砂等運搬 標準 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂 (15.5km以下 DID区間無 , 夕俣損耗費(良好)含む )							1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			45.59				
ダンプトラック[オロト・ディーゼル] 10t積級			45.59				
【労務】			39.52				
運転手(一般)			39.52				
【材料】			14.89				
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油			14.89				
【端数調整】							
[条件]							
[J1] = 1 土砂等発生現場 標準				[J2] = 1 積込機種・規格 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3)			
[J3] = 1 土質 土砂(岩塊・玉石混り土含む)				[J4] = 1 DID区間の有無 DID区間無			
[J5] = 13 運搬距離 15.5km以下							

【 第 55 号 施工単価表 】						
大型土のう製作・設置 設置作業半径6m以下						10 袋 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
1t土のう 丸型,径110cm×長108cm	10	枚				
バックホウ運転(クレーン機能付)(賃料) 加-ヲ型 山積0.8m3(平積0.6) 排対型:3次基準		日				
諸 雑 費 ( 率 + 丸 め )						
労務費の% 計		%				
単位当たり						
[条件]						
[A] = 1 作業区分 製作・設置		[y1] = 1	大型土のう規格 1t土のう			
[B] = 2 土砂規格 流用土		[C] = 1	設置作業半径 6m以下			
[x1] = 4 バックホウ規格区分 排対型:3次基準						

【 第 56 号 施工単価表 】						
大型土のう撤去 設置作業半径6m以下						10 袋 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
バックホウ運転(クレーン機能付)(賃料) 加-ラ型 山積0.8m3(平積0.6) 排対型:3次基準		日				
諸 雑 費 (丸め)						
計	1	式				
単位当たり						
[条件]						
[A] = 4 作業区分 撤去			[y1] = 4 大型土のう規格 製作しない場合			
[B] = 3 土砂規格 製作しない場合			[C] = 1 設置作業半径 6m以下			
[x1] = 4 バックホウ規格区分 排対型:3次基準						

令和7年度 第122号 普通河川畑井川(1工区)河川災害復旧工事

【 第 57 号 施工パッケージ 】							
土砂等運搬 標準 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂 (11.5km以下 DID区間無 , 夕俣損耗費(良好)含む )							1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			45.59				
ダンプトラック[オート・ディーゼル] 10t積級			45.59				
【労務】			39.52				
運転手(一般)			39.52				
【材料】			14.89				
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油			14.89				
【端数調整】							
[条件]							
[J1] = 1 土砂等発生現場 標準				[J2] = 1 積込機種・規格 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3)			
[J3] = 1 土質 土砂(岩塊・玉石混り土含む)				[J4] = 1 DID区間の有無 DID区間無			
[J5] = 12 運搬距離 11.5km以下							

# 特記仕様書

## 第 1 章 総 則

### 第 1 節 適 用

- 1 本特記仕様書は、第122号 普通河川 畑井川(1工区) 河川災害復旧工事 に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
  - ・土木工事共通仕様書（令和6年8月 広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）
    - ※ 土木工事共通仕様書は、「広島県の調達情報」に掲載されている。 <https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
  - ・その他関連規格類

### 第 2 節 適用除外

- 本工事では、土木工事共通仕様書（令和6年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）における下記の項目については適用しない。
- ・ 1-1-1-27, 1-1-2-20 週休二日の対応
  - ・ 1-1-2-14 施工管理 1. 標示板の設置
  - ・ 1-1-3-7 契約後 V E 工事
  - ・ 1-1-3-9 県産木材の活用
  - ・ 3-1-1-7 工事完成図書の納品 6. 地質調査の電子成果品等

### 第 3 節 用語等の読みかえ

土木工事共通仕様書（令和6年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）に規定されている用語等については次のとおり読みかえる。

土木工事共通仕様書に規定されている用語等		特記仕様書第1章総則で読みかえる用語等	
1-1-1-2 用語の定義	6. 設計図書	工事数量総括表	本工事費内訳書
1-1-2-1 適用	2. 共通仕様書の適用	土木工事監督規程	庄原市建設工事監督規程
1-1-2-1 適用	2. 共通仕様書の適用	土木工事検査規程	庄原市建設工事検査規程
1-1-2-2 用語の定義	1. 監督職員	建設工事執行規則（平成8年6月11日規則第39号）	庄原市建設工事執行規則（平成17年3月31日規則第135号）
1-1-2-2 用語の定義	2. 総括監督員	広島県契約規則（昭和39年4月1日規則第32号）	庄原市契約規則（平成17年3月31日規則第47号）
1-1-2-2 用語の定義	4. 技術検査	土木工事検査技術基準	庄原市建設工事検査基準
1-1-2-2 用語の定義	5. 検査職員	建設工事執行規則（平成8年6月11日規則第39号）	庄原市建設工事執行規則（平成17年3月31日規則第135号）
1-1-2-5 工事の下請負	1. 下請負者の資格	広島県の建設工事入札参加資格	庄原市の建設工事入札参加資格
1-1-2-5 工事の下請負	2. 指名除外	広島県の「建設業者等指名除外要綱」の指名停止	庄原市建設業者指名除外基準要綱の指名除外
1-1-2-5 工事の下請負	5. 下請け	広島県内	庄原市内
1-1-2-5 工事の下請負	6. 県外業者を下請業者とする場合の理由書	県外	市外

### 第 4 節 災害復旧工事に係る緩和措置

本工事は、災害復旧工事に該当し、緩和措置については、次のとおり取り扱う。

- 1 現場代理人（請負金額が 4,500万円（建築一式工事にあつては、9,000万円）未満の場合に限る。）が、特記仕様書 第1章 総則 第5節「現場代理人の兼務」1に掲げる条件（（3）の条件を除く。）を満たすときは、同節の申請手続をすることなく、他の公共工事の現場における現場代理人又は主任技術者との兼務を認める。
- 2 請負代金額が 3,500万円未満の災害復旧工事等については、原則、評定の対象外とする。なお、変更契約により 3,500万円以上になった場合も、評定の対象としない。
- 3 請負代金額が 5,000万円未満の工事については、中間検査を省略する。

## 第 5 節

### 現場代理人の兼務

- 1 受注者は、請負代金額が 4,500万円（建築一式工事にあつては、9,000万円）未満に該当することにより現場代理人の工事現場への常駐を要しないこととされた場合であつて、かつ、次に掲げる条件をいずれも満たすときは、本件工事における現場代理人について、他の公共工事の現場における現場代理人又は技術者等との兼務を申請することができる。  
ただし、令和7年4月3日付「災害復旧工事における特例措置」の期間にあつては、兼務制限の件数から災害復旧工事を除くこととする。
  - （1） 兼務する工事が公共工事であり、庄原市内の工事であること
  - （2） 兼務する工事件数が本件工事を含め3件（災害復旧工事に係る件数を除く）以内であること
  - （3） 兼務する工事が同一の発注者によるものでない場合は、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しを提出できること
  - （4） 監督職員等の求めにより、速やかに工事現場に向かう等適切な対応ができること
- 2 受注者は、前項に掲げるほか、密接に関係のある他の公共工事（建設業法施行令（昭和31年政令第273号）第27条第2項が適用される工事として、同一の専任の主任技術者による工事の管理が認められたものに限る。）において現場代理人又は主任技術者として配置されている期間であつて、かつ、次に掲げる条件をいずれも満たすときは、本件工事における現場代理人について、他の公共工事の現場における現場代理人又は技術者等との兼務を発注者に申請することができる。
  - （1） 同一の主任技術者による管理が認められた公共工事であること
  - （2） 兼務する工事件数が本件工事を含め2件以内であること
  - （3） 監督職員等の求めにより、速やかに工事現場に向かう等適切な対応ができること
- 3 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めたときは、兼務の承認を取消すものとする。
  - （1） 兼務に関する事項で、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
  - （2） 著しい状況の変化により、兼務をすることが適当でなくなったとき
  - （3） その他、発注者の判断で兼務をすることが適当でなくなったとき
- 4 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行なうことがある。

## 第 6 節

### 現場代理人及び主任技術者又は監理技術者

- 1 現場代理人及び主任技術者又は監理技術者の配置要件の取り扱いについては、土木工事共通仕様書 1-1-3-3 現場代理人及び主任技術者又は監理技術者「5. 配置要件」によらず、次のとおり取り扱う。  
一般土木工事（建築一式工事以外）の契約約款第10条第1項第2号の規定により配置する主任技術者又は監理技術者は次によるものとする。
  - （1） 下請契約金額の総額が 5,000万円以上、又は設計図書等において特に定めた場合は、監理技術者を配置する。
  - （2） 請負代金額 4,500万円以上の場合、又は設計図書等において特に定めた場合は、一般建設業・特定建設業を問わず全業者について技術者

を専任配置する。

- (3) 請負代金額が 500万円以上 4,500万円未満、又は設計図書等において特に定めた場合は、一般建設業・特定建設業を問わず全業者について配置する技術者が、兼務する工事件数（請負代金額が 500万円以上 4,500万円未満）は、この工事を含めて3件までとする。
  - (4) 請負金額が 4,500万円以上 1億円未満の工事で建設業法施行令第27条第2項が適用される工事にあつては、主任技術者が兼務できる工事件数は、この工事を含めて2件以内とする。
- 2 現場代理人及び主任技術者又は監理技術者の誓約書の取り扱いについては、土木工事共通仕様書 1-1-3-3 現場代理人及び主任技術者又は監理技術者「6. 誓約書」によらず、次のとおり取り扱う。
- 「現場代理人及び主任技術者等指名（変更）届」には、次の各号に定める誓約書を添付しなければならない。
- (1) 請負代金額が 4,500万円以上、又は設計図書等において特に定めた場合  
配置する主任技術者又は監理技術者について、他の工事の主任技術者又は監理技術者として配置していない旨の誓約書。
  - (2) 請負代金額が 500万円以上 4,500万円未満、又は設計図書等において特に定めた場合  
配置する主任技術者又は監理技術者について、次の〔1〕又は〔2〕に掲げる主任技術者又は監理技術者若しくは現場代理人として現在3件（本件工事は含まない。）以上の工事に配置していない旨の誓約書。
    - 〔1〕 500万円以上 4,500万円未満（建築一式工事については、1,500万円以上 9,000万円未満）の建設工事の主任技術者又は監理技術者
    - 〔2〕 災害復旧工事以外の工事の現場代理人

## 第 7 節 情報共有システム

本工事は、情報共有システムの利用対象工事であり、実施については土木工事共通仕様書 1-1-1-25 施工管理「10. 工事情報共有化」に従うこと。

## 第 8 節 工事関係書類の事前協議

受注者は、「土木工事書類作成マニュアル（案）令和2年11月 広島県」に記載のある「2 工事関係書類一覧」に基づき、工事着手前に、工事書類の電子又は紙による提出又は提示方法を監督員と事前協議し決定する。ただし、出来形管理図表・品質管理表・工事写真の提出又は提示方法については、紙に変更できるものとする。

## 第 9 節 遠隔地からの労働者を確保する場合の積算方法

- 1 「共通仮設費（率分）のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の次に示す費用（以下「実績変更対象費」という。）について、工事実施に当たって不足する技術者や技能者を広域的に確保せざるを得ない場合も考えられることから、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、積算基準書等の金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更を行う。

営繕費：労働者送迎費、宿泊費、借上げ費（宿泊費、借上げ費については労働者確保に係るものに限る。）

労務管理費：募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用

- 2 受注者は、遠隔地から労働者を確保する場合、実績変更対象費の割合を参考にし、工事着手までに実施計画書を作成し、監督職員に提出する。
- 3 最終精算変更時点において、実績変更対象費の支出実績を踏まえて設計変更が必要な場合は、実績報告書及び実績変更対象費について実際に支払った全ての証明書類（領収書、領収書の出ないものは金額の妥当性を証明する書類等。）を監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。
- 4 受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。
- 5 実績変更対象費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象費について実際に支払った額のうち証明書類において確認された費用から、積算基準書等に基づき算出した額における実績変更対象費を差し引いた額を加算して算出する。  
なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって設計変更を行うものとする。
- 6 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び指名除外等の措置を行う場合がある。
- 7 疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
- 8 本工事における実績変更対象費の割合は次のとおりである。
  - (1) 共通仮設費（率分）に占める実績変更対象費（労働者送迎費、宿泊費、借上げ費）の割合： 9.19%
  - (2) 現場管理費に占める実績変更対象費（募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用）の割合： 1.29%

## 第 10 節

### 法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
  - (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」
  - (2) 上記(1)の内容について「不測の事態等が生じた場合の対応方法」
  - (3) 上記(1)、(2)の内容について「現場作業に従事する者に対する周知の方法」
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

## 第 11 節

### 建設副産物

本工事における建設副産物については、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

- 1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画
 

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。
- 2 計画の掲示及び公表
 

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆

の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

[https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page\\_03060101credas1top.htm](https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm)

### 3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

### 4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

### 5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

- (1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項
  - ア 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。
  - イ 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

### 6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

### 7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

### 8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

### 9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
- (2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
- (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地

- (4) 建設発生土の搬出量
- (5) 建設発生土の搬出が完了した日
- 1 0 建設発生土の搬入元への受領書の交付
 

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。
- 1 1 受領書の内容確認
 

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。
- 1 2 受領書の保管
 

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。
- 1 3 建設発生土の最終搬出先までの確認
 

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9(1)～(5)に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

  - (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
  - (2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
  - (3) スtockヤード運営事業者登録規定により国に登録されたStockヤード
  - (4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

## 第 2 章 材 料

### 第 1 節 ブロック積（空積）

- 1 受注者は、この工事に使用するブロック積（空積）の製品選定においては、次に示す条件を満足する製品から選択し、その外観及び品質規格証明書等により事前に監督職員の承認を得ること。
 

(選定条件)

  - ・壁体重量： 0.81 t/m<sup>2</sup>以上(控500)
  - ・設計流速： 7.3 m/Secまで
  - ・自然環境： 地山との透水性確保が可能な製品
- 2 壁体重量の確認は、当該工事で使用するコンクリートブロック及び中詰材と同じ組み合わせにより施工した実績がある場合は、「壁体重量検査実績報告書」により監督職員の承認を得て省略することができる。
 

ただし、施工実績として認められるものは、広島県北部建設事務所庄原支所又は庄原市発注の工事に限る。
- 3 当該現場で使用するブロック積（空積）の調達に時間がかかる、又は困難な場合には速やかに監督職員に報告し、対応について協議すること。

## 第 3 章 施工条件

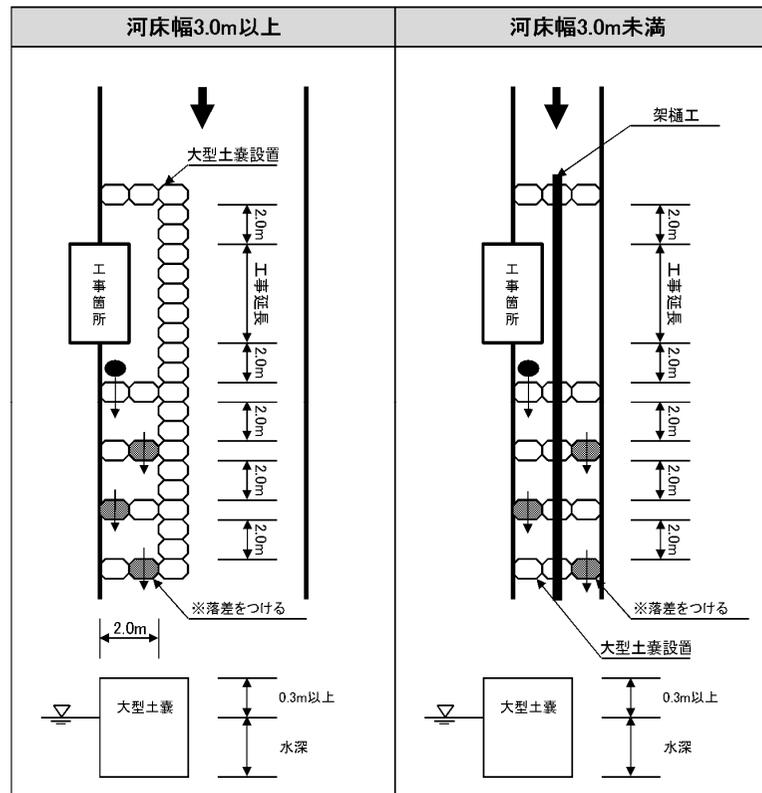
### 第 1 節 公害対策

#### 1 水替・流入防止施設

内容	水替工として必要最小限の仮締切工と締切排水工を見込んでいる。
期間	掘削作業時

## 2 濁水・湧水処理

- 1 濁水処理（沈砂池）を施工することを見込んでいる、当施設は、任意仮設とする。
- 2 下記の図を基準とするが、これによらない場合も同等の施設を施工する事とし監督職員の了解を得て工事着手すること。
- 3 漁業権設定区域内の箇所並びにその区域内に影響を与える恐れのある箇所についても、工事着手前に漁業組合の同意を得ること。
- 4 工事発注後に明らかになった、やむを得ない事情により上記により難しい場合は、発注者と受注者が協議するものとする。
- 5 使用した大型土のう袋等はナンバーリングを行い、撤去時に空袋枚数を記録し確実に河川内に残させないよう管理すること。



## 第 2 節 建設副産物

### 1 建設発生土〔搬出〕（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積））（指定処分（A））

当該工事により発生する建設発生土は、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）のいずれかに搬出するものとする。

また、搬出先として、建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）のうち、運搬費と受入費の合計が最も経済的になる次の施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

搬出場所 榑宮田木材 光森処分場 庄原市東城町加谷字大鉄穴5081-2

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議の上、設計変更の対象とする。

## 第 4 章 その他

- 1 本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員の指示を受けること。
- 2 事前に関係河川漁協と協議を行い、同意等の承諾を得ること。

工事番号 : 第122号

普通河川 畑井川(1工区)

庄原市東城町栗田 鈿原橋上

A箇所 災害復旧延長 L=5.3m

B箇所 災害復旧延長 L=5.5m

C箇所 災害復旧延長 L=5.0m

D箇所 災害復旧延長 L=21.5m

E箇所 災害復旧延長 L=7.5m

F箇所 災害復旧延長 L=45.7m

数量計算書

# 1.数量総括表

## <工事区分:築堤・護岸>

工種	種別	細別	規格	単位	数量	計上数量	備考
河川土工							
	掘削工	掘削	土砂 標準	m3	238.0	240	
	盛土工	(築堤)盛土	レキ質土	m3	34.1	30	
	法面整形工	法面整形(盛土部)	レキ質土	m3	12.9	10	
	残土処理工	土砂等運搬・処分		m3	289.7	290	
法面工							
	植生工	人工張芝	人工張芝	m2	12.9	10	
築堤護岸工							
	作業土工	床掘	土砂 小規模	m3	126.3	130	
		埋戻	土砂 小規模	m3	31.1	30	
		基礎コンクリート		m3	6.1	6	
		基面整生		m2	64.5	60	
	コンクリートブロック積工						
		1号基礎工	控え50cm 1:0.4 or 1:0.5	m	75.3	75	
		2号基礎工	控え75cm 1:0.3	m	1.7	2	
		1号コンクリートブロック積	中空1:0.4控え50cm	m2	273.8	274	
		2号コンクリートブロック積	大型1:0.3控え75cm	m2	4.5	5	
		1号天端工	控え50cm	m	74.0	74	
		2号天端工	控え75cm	m	3.0	3	
		中詰材	0.265m3/m2	m3	72.4	70	(栗石)
			0.451m3/m2	m3	2.0	2	(Co)
		吸出し防止材		m2	273.8	274	
		裏込・裏込材(砕石)	RC-40	m3	145.7	150	
		小口止工	1号小口止	箇所	1.0	1	
			2号小口止	箇所	1.0	1	
			3号小口止	箇所	1.0	1	
			4号小口止	箇所	1.0	1	
			5号小口止	箇所	1.0	1	
			6号小口止	箇所	1.0	1	
			7号小口止	箇所	1.0	1	
		間切工	1号間切	箇所	1.0	1	
			2号間切	箇所	1.0	1	



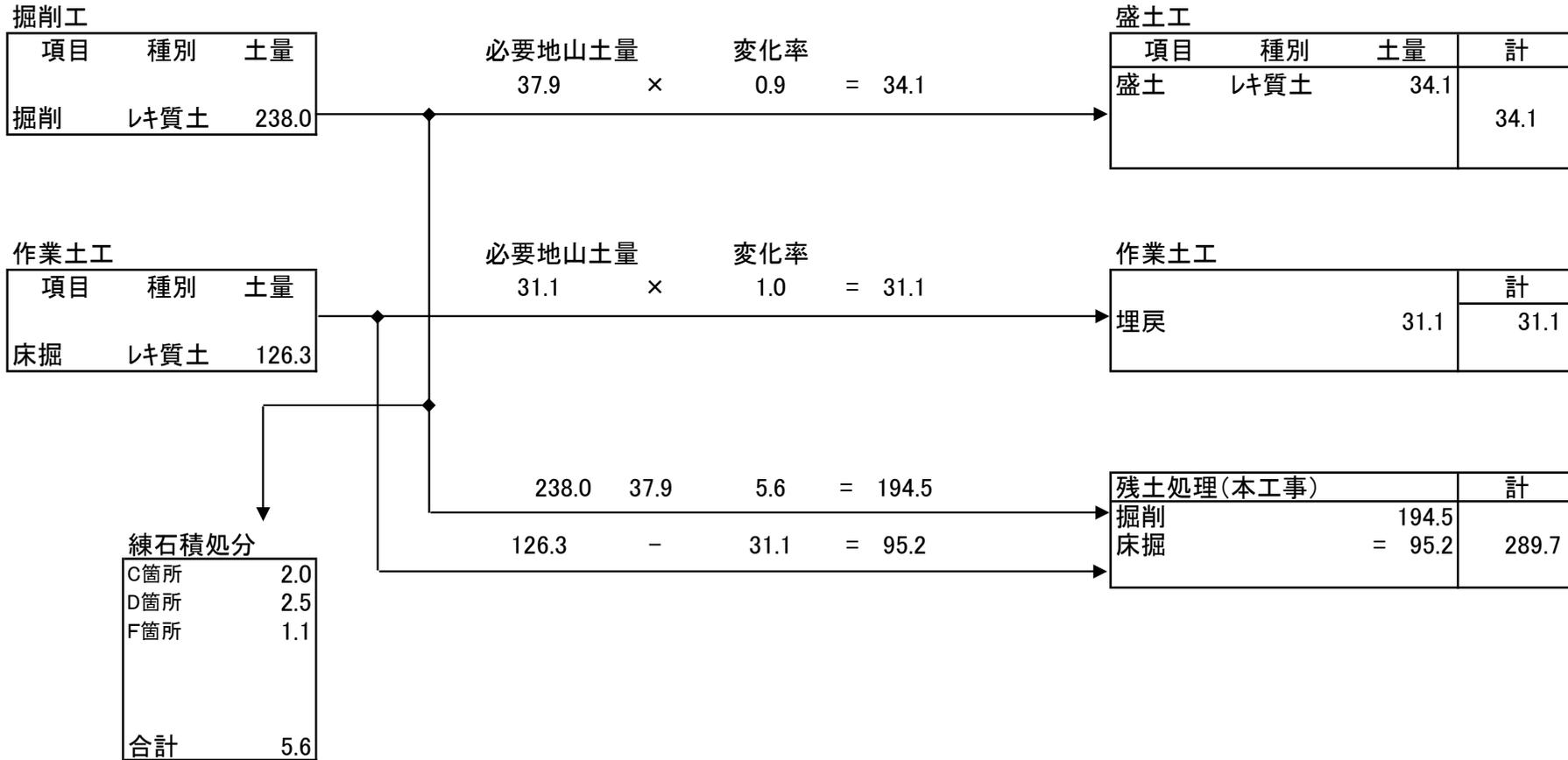
1-1.数量集計表

<工事区分:築堤・護岸>

1工区

工種	種別	細別	規格	単位	A箇所	B箇所	C箇所	D箇所	E箇所	F箇所	合計	備考
河川土工												
	掘削工	掘削	土砂 標準	m3	4.6		7.9	27.6	30.5	167.4	238.0	
	盛土工	(築堤)盛土	ㄥ質土	m3			1.1	7.1	13.3	12.6	34.1	
	法面整形工	法面整形(盛土部)	ㄥ質土	m3					12.9		12.9	
	残土処理工	土砂等運搬・処分		m3							290.0	
法面工												
	植生工	人工張芝	人工張芝	m2					12.9		12.9	
築堤護岸工												
	作業土工	床掘	土砂 小規模	m3		1.3	5.0	39.2	13.3	67.5	126.3	
		埋戻	土砂 小規模	m3		2.5	6.1	6.5	2.3	13.7	31.1	
		基礎コンクリート		m3			6.1				6.1	
		基面整生		m2			4.7	17.2	6.0	36.6	64.5	
	コンクリートブロック積工											
		1号基礎工	控え50cm 1:0.4 or 1:0.5	m			3.0	20.9	6.9	44.5	75.3	
		2号基礎工	控え75cm 1:0.3	m			1.7				1.7	
		1号コンクリートブロック積	中空1:0.4控え50cm	m2			5.7	45.8	21.4	200.9	273.8	
		2号コンクリートブロック積	大型1:0.3控え75cm	m2			4.5				4.5	
		1号天端工	控え50cm	m			1.7	20.9	6.9	44.5	74.0	
		2号天端工	控え75cm	m			3.0				3.0	
		中詰材	0.265m3/m2	m3			1.5	12.1	5.7	53.1	72.4	
			0.451m3/m2	m3			2.0				2.0	
		吸出し防止材		m2			5.7	45.8	21.4	200.9	273.8	
		裏込・裏込材(砕石)	RC-40	m3			5.1	23.9	10.8	105.9	145.7	
		小口止工	1号小口止	箇所			1.0				1.0	
			2号小口止	箇所				1.0			1.0	
			3号小口止	箇所				1.0			1.0	
			4号小口止	箇所					1.0		1.0	
			5号小口止	箇所					1.0		1.0	
			6号小口止	箇所						1.0	1.0	
			7号小口止	箇所						1.0	1.0	
		間切工	1号間切	箇所						1.0	1.0	
			2号間切	箇所						1.0	1.0	
根固め工												
	根固めブロック工											
		底張ブロック据付	0.4×0.4 H0.3	個				360.6	114.4	648.8	1,123.8	
		底張コンクリート	t=20cm	m2		11.5	8.0				19.5	
		均しコンクリート	t=10cm	m2		10.2	6.6				16.8	
雑工												
	雑工(すり付工)											
		すり付工	すり付工(練石積)	m2			1.2		25.5		26.6	
構造物撤去工												
	構造物取壊し工											
		コンクリート構造物取壊	コンクリート(無筋)	m3						7.5	7.5	
	運搬処理工											
		コンクリート殻運搬	コンクリート(無筋)	m3			2.0	2.5		8.6	13.1	
		コンクリート殻処分	コンクリート(無筋)	t			4.7	5.9		20.2	30.8	
仮設工												
	土留・仮締切工											
		土のう	大型土のう製作・設置・撤去	袋	1.8	3.6	3.9		5.9	4.3	19.5	
		仮締切工	架橋工φ300	m	22.6						22.6	
		仮締切工	架橋工φ400	m		22.5	54.5		24.5	62.7	164.2	
	水替え工											
		ポンプ排水	ポンプ設置・撤去	箇所	1.0	1.0	1.0		1.0	1.0	5.0	
		ポンプ運転	作業時排水	日								
	廃プラスチック処理工											
		廃プラ処分	2.1kg/袋	袋	1.8	3.6	3.9		5.9	4.3	19.5	

## 土量配分表





### 3.本土工 数量計算書

#### 3-2.B箇所

測点	距離 (m)	掘削(礫質土) C			床掘(礫質土) E			埋戻し Fu			摘要
		断面積	平均	立積	断面積	平均	立積	断面積	平均	立積	
SECT 0.0					0.6			0.0			
SECT 3.0	3.0				0.0	0.30	0.9	0.8	0.40	1.2	
SECT 5.5	2.5				0.3	0.15	0.4	0.2	0.50	1.3	
計	5.5						1.3			2.5	
測点	距離 (m)	底張コンクリート W1			均しコンクリート W2						摘要
		幅	平均	面積	幅	平均	面積				
SECT 0.0		2.2			1.9						
SECT 3.0	3.0	2.2	2.20	6.6	2.0	1.95	5.9				
SECT 5.5	2.5	1.7	1.95	4.9	1.4	1.70	4.3				
計	5.5			11.5			10.2			0.0	
測点	距離 (m)										摘要
計	0.0			0.0			0.0				

#### 護床工

底張コンクリート	A=	=	11.5 m <sup>2</sup>
	V= 11.5 × 0.20	=	2.3 m <sup>3</sup>
均しコンクリート	A=	=	10.2 m <sup>2</sup>
	V= 10.2 × 0.10	=	1.0 m <sup>3</sup>

### 3.本土工 数量計算書

#### 3-3.C箇所

測点	距離 (m)	掘削(礫質土) C			床掘(礫質土) E			基礎コンクリート			摘要
		断面積	平均	立積	断面積	平均	立積	断面積	平均	立積	
SECT 56.0		0.9			1.0			0.2			
SECT 59.0	3.0	1.0	0.95	2.9	0.6	0.80	2.4	1.7	0.95	2.9	
SECT 61.0	2.0	4.0	2.50	5.0	2.0	1.30	2.6	1.5	1.60	3.2	
計	5.0			7.9			5.0			6.1	
測点	距離 (m)	基面整正 K			盛土 B			均しコンクリート W2			摘要
		長さ	平均	面積				幅	平均	面積	
SECT 56.0		0.8			0.1			1.0			
SECT 59.0	3.0	1.0	0.90	2.7	0.3	0.20	0.6	1.5	1.25	3.8	
SECT 61.0	2.0	1.0	1.00	2.0	0.2	0.25	0.5	1.3	1.40	2.8	
計	5.0			4.7			1.1			6.6	
測点	距離 (m)	1号コンクリートブロック積 SL			裏込材(RC-40) Gv			底張コンクリート W1			摘要
		長さ	平均	面積	断面積	平均	立積	幅	平均	面積	
SECT 56.0		2.1			1.0			1.3			
SECT 59.0	3.0	1.7	1.90	5.7	0.8	0.90	2.7	1.8	1.55	4.7	
SECT 61.0	2.0							1.5	1.65	3.3	
計	5.0			5.7			2.7			8.0	
測点	距離 (m)	2号コンクリートブロック積 SL			裏込材(RC-40) Gv						摘要
		長さ	平均	面積	断面積	平均	立積				
SECT 56.0											
SECT 59.0	3.0	1.7			0.8						
SECT 60.7	1.7	3.6	2.65	4.5	2.0	1.40	2.4				
計	4.7			4.5			2.4				

#### 3-3.C箇所

##### 1号基礎工

$$L = (\text{展開図より}) = 3.0 \text{ m}$$

$$V = (\text{単位数量計算書より}) \quad 1.36 \div 10.0 \times 3.0 = 0.41 \text{ m}^3$$

##### 2号基礎工

$$L = (\text{展開図より}) = 1.7 \text{ m}$$

$$V = (\text{単位数量計算書より}) \quad 2.32 \div 10.0 \times 1.7 = 0.39 \text{ m}^3$$

##### 1号コンクリートブロック積

##### 中詰材(割栗石)

$$V = 5.7 \times 0.265 = 1.5 \text{ m}^3$$

※中詰め材数量はm2当たりの標準使用量とした。

吸出し防止材(合成不織布t=10mm、9.8kN/m)

$$A = (\text{ブロック積面積と同じ}) = 5.7 \text{ m}^2$$

### 2号コンクリートブロック積

中詰め材(中詰めコンクリート  $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$ )

$$V = 4.5 \times 0.451 = 2.0 \text{ m}^3$$

※中詰め材数量はm2当たりの標準使用量とした。

### 1号天端工

$$L = (\text{展開図より}) = 1.7 \text{ m}$$

$$V = (\text{単位数量計算書より}) \quad 0.25 \div 10.0 \times 1.7 = 0.04 \text{ m}^3$$

### 2号天端工

$$L = (\text{展開図より}) = 3.0 \text{ m}$$

$$V = (\text{単位数量計算書より}) \quad 1.17 \div 10.0 \times 3.0 = 0.35 \text{ m}^3$$

### 1号小口止工

$$N = 1.0 \text{ 箇所}$$

$$\text{コンクリート} \quad V = (\text{単位数量計算書より}) = 0.97 \text{ m}^3$$

$$\text{一般型枠} \quad A = (\text{単位数量計算書より}) = 6.65 \text{ m}^2$$

$$\text{化粧型枠} \quad A = (\text{単位数量計算書より}) = 1.09 \text{ m}^2$$

### 護床工

$$\text{底張コンクリート} \quad A = 8.0 \text{ m}^2$$

$$V = 8.0 \times 0.20 = 1.6 \text{ m}^3$$

$$\text{均しコンクリート} \quad A = 6.6 \text{ m}^2$$

$$V = 6.6 \times 0.10 = 0.7 \text{ m}^3$$

### 雑工

取付工(練石積)

$$A = (2.1+2.5) \div 2 \times 0.5 = 1.2 \text{ m}^2$$

### 運搬処分 練石積

$$V = ((2.0+1.0) \div 2 \times 1.6 + (0.4+1.8) \div 2 \times 3.0) \times 0.3 = 2.0 \text{ m}^3$$

$$W = 2.0 \times 2.35 = 4.7 \text{ t}$$

### 3.本土工 数量計算書

#### 3-4.D箇所

測点	距離 (m)	掘削(礫質土) C			床掘(礫質土) E			埋戻し Fu			摘要
		断面積	平均	立積	断面積	平均	立積	断面積	平均	立積	
SECT 72.0		1.8			2.0			0.3			
SECT 80.0	8.0	0.7	1.25	10.0	1.9	1.95	15.6	0.3	0.30	2.4	
SECT 93.5	13.5	1.9	1.30	17.6	1.6	1.75	23.6	0.3	0.30	4.1	
計	21.5			27.6			39.2			6.5	
測点	距離 (m)	基面整正 K			盛土 B			底張ブロック			摘要
		長さ	平均	面積				幅	平均	面積	
SECT 72.0		0.8			0.0			3.5			
SECT 80.0	8.0	0.8	0.80	6.4	0.6	0.30	2.4	3.0	3.25	26.0	
SECT 93.5	13.5	0.8	0.80	10.8	0.1	0.35	4.7	1.7	2.35	31.7	
計	21.5			17.2			7.1			57.7	
測点	距離 (m)	1号コンクリートブロック積 SL			裏込材(RC-40) Gv						摘要
		長さ	平均	面積	断面積	平均	立積				
SECT 72.3		1.9			0.9						
SECT 80.0	7.7	2.1	2.00	15.4	1.2	1.05	8.1				
SECT 93.2	13.2	2.5	2.30	30.4	1.2	1.20	15.8				
計	20.9			45.8			23.9				

#### 1号基礎工

$$L = (\text{展開図より}) = 20.9 \text{ m}$$

$$V = (\text{単位数量計算書より}) \quad 1.36 \div 10.0 \times 20.9 = 2.84 \text{ m}^3$$

#### 1号天端工

$$L = (\text{展開図より}) = 20.9 \text{ m}$$

$$V = (\text{単位数量計算書より}) \quad 0.25 \div 10.0 \times 20.9 = 0.52 \text{ m}^3$$

#### 1号コンクリートブロック積

##### 中詰材(割栗石)

$$V = 45.8 \times 0.265 = 12.1 \text{ m}^3$$

※中詰め材数量はm2当たりの標準使用量とした。

##### 吸出し防止材(合成不織布t=10mm、9.8kN/m)

$$A = (\text{ブロック積面積と同じ}) = 45.8 \text{ m}^2$$

#### 2号小口止工

$$N = 1.0 \text{ 箇所}$$

$$\text{コンクリート} \quad V = (\text{単位数量計算書より}) = 0.63 \text{ m}^3$$

$$\text{一般型枠} \quad A = (\text{単位数量計算書より}) = 4.35 \text{ m}^2$$

$$\text{化粧型枠} \quad A = (\text{単位数量計算書より}) = 0.58 \text{ m}^2$$

3号小口止工		N=	1.0 箇所
コンクリート	V= (単位数量計算書より)	=	0.79 m3
一般型枠	A= (単位数量計算書より)	=	5.43 m2
化粧型枠	A= (単位数量計算書より)	=	0.74 m3

護床工	底張ブロック		
	A=	=	57.7 m2
	個数= (単位数量計算書より) 57.7 ÷ 10.0 × 62.5	=	360.6 個

運搬処分	練石積		
	V= ((2.2+1.2) ÷ 2 × 4.2) × 0.35	=	2.5 m3
	W= 2.5 × 2.35	=	5.9 t

### 3.本土工 数量計算書

#### 3-5.E箇所

測点	距離 (m)	掘削(礫質土) C			床掘(礫質土) E			埋戻し Fu			摘要
		断面積	平均	立積	断面積	平均	立積	断面積	平均	立積	
SECT 113.0		3.4			1.7			0.3			
SECT 117.0	4.0	4.4	3.90	15.6	1.8	1.75	7.0	0.3	0.30	1.2	
SECT 120.5	3.5	4.1	4.25	14.9	1.8	1.80	6.3	0.3	0.30	1.1	
計	7.5			30.5			13.3			2.3	
測点	距離 (m)	基面整正 K			盛土 B						摘要
		長さ	平均	面積							
SECT 113.0		0.8			0.4						
SECT 117.0	4.0	0.8	0.80	3.2	0.4	0.40	1.6				
SECT 120.5	3.5	0.8	0.80	2.8	0.7	0.55	1.9				
計	7.5			6.0			3.5				
測点	距離 (m)	盛土法面整生 Lb			植生工 L			底張ブロック			摘要
		長さ	平均	面積	長さ	平均	面積	幅	平均	面積	
SECT 113.0		1.6			1.6			2.7			
SECT 117.0	4.0	1.6	1.60	6.4	1.6	1.60	6.4	2.4	2.55	10.2	
SECT 120.5	3.5	2.1	1.85	6.5	2.1	1.85	6.5	2.2	2.30	8.1	
計	7.5			12.9			12.9			18.3	
測点	距離 (m)	1号コンクリートブロック積 SL			裏込材(RC-40) Gv						摘要
		長さ	平均	面積	断面積	平均	立積				
SECT 113.3		3.0			1.5						
SECT 117.0	3.7	3.1	3.05	11.3	1.6	1.55	5.7				
SECT 120.2	3.2	3.2	3.15	10.1	1.6	1.60	5.1				
計	6.9			21.4			10.8				

#### 3-5.E箇所

##### 1号基礎工

$$L = (\text{展開図より}) = 6.9 \text{ m}$$

$$V = (\text{単位数量計算書より}) \quad 2.32 \div 10.0 \times 6.9 = 1.60 \text{ m}^3$$

##### 1号天端工

$$L = (\text{展開図より}) = 6.9 \text{ m}$$

$$V = (\text{単位数量計算書より}) \quad 1.17 \div 10.0 \times 6.9 = 0.81 \text{ m}^3$$

##### 1号コンクリートブロック積

##### 中詰材(割栗石)

$$V = 21.4 \times 0.265 = 5.7 \text{ m}^3$$

※中詰め材数量はm2当たりの標準使用量とした。

吸出し防止材(合成不織布t=10mm、9.8kN/m)

$$A = (\text{ブロック積面積と同じ}) = 21.4 \text{ m}^2$$

4号小口止工

$$N = 1.0 \text{ 箇所}$$

$$\text{コンクリート} \quad V = (\text{単位数量計算書より}) = 0.97 \text{ m}^3$$

$$\text{一般型枠} \quad A = (\text{単位数量計算書より}) = 6.60 \text{ m}^2$$

$$\text{化粧型枠} \quad A = (\text{単位数量計算書より}) = 0.90 \text{ m}^3$$

5号小口止工

$$N = 1.0 \text{ 箇所}$$

$$\text{コンクリート} \quad V = (\text{単位数量計算書より}) = 1.04 \text{ m}^3$$

$$\text{一般型枠} \quad A = (\text{単位数量計算書より}) = 7.08 \text{ m}^2$$

$$\text{化粧型枠} \quad A = (\text{単位数量計算書より}) = 0.97 \text{ m}^3$$

雑工

取付工(練石積)

$$A = (4.7+4.7) \div 2 \times 0.5 + 4.7 \times (2.6-0.5) + (4.9+4.9) \div 2 \times 0.5 + 4.9 \times (2.7-0.5) = 25.5 \text{ m}^2$$

護床工 底張ブロック

$$A = 18.3 \text{ m}^2$$

$$\text{個数} = (\text{単位数量計算書より}) \quad 18.3 \div 10.0 \times 62.5 = 114.4 \text{ 個}$$

### 3.本土工 数量計算書

#### 3-6.F箇所

測点	距離 (m)	掘削(礫質土) C			床掘(礫質土) E			埋戻し Fu			摘要
		断面積	平均	立積	断面積	平均	立積	断面積	平均	立積	
SECT 178.0		1.6			0.8			0.3			
SECT 187.7	9.7	1.9	1.75	17.0	1.4	1.10	10.7	0.3	0.30	2.9	
SECT 200.8	13.1	5.2	3.55	46.5	1.5	1.45	19.0	0.3	0.30	3.9	
SECT 211.7	10.9	4.5	4.85	52.9	1.7	1.60	17.4	0.3	0.30	3.3	
SECT 223.7	12.0	4.0	4.25	51.0	1.7	1.70	20.4	0.3	0.30	3.6	
計	45.7			167.4			67.5			13.7	
測点	距離 (m)	基面整正 K			盛土 B			底張ブロック			摘要
		長さ	平均	面積				幅	平均	面積	
SECT 178.0		0.8			0.1			3.6			
SECT 187.7	9.7	0.8	0.80	7.8	0.8	0.45	4.4	2.1	2.85	27.6	
SECT 200.8	13.1	0.8	0.80	10.5	0.1	0.45	5.9	2.0	2.05	26.9	
SECT 211.7	10.9	0.8	0.80	8.7	0.1	0.10	1.1	2.2	2.10	22.9	
SECT 223.7	12.0	0.8	0.80	9.6	0.1	0.10	1.2	2.2	2.20	26.4	
計	45.7			36.6			12.6			103.8	
測点	距離 (m)	1号コンクリートブロック積 SL			裏込材(RC-40) Gv						摘要
		長さ	平均	面積	断面積	平均	立積				
SECT 178.3		3.8			1.9						
SECT 187.7	9.4	4.2	4.00	37.6	2.2	2.05	19.3				
SECT 193.3	5.6	4.6	4.40	24.6	2.4	2.30	12.9				
SECT 193.6		4.6			2.4	2.40	0.0				
SECT 200.8	7.2	4.9	4.75	34.2	2.6	2.50	18.0				
SECT 208.6	7.8	4.8	4.85	37.8	2.6	2.60	20.3				
SECT 208.9		4.8			2.6	2.60	0.0				
SECT 211.7	2.8	4.8	4.80	13.4	2.6	2.60	7.3				
SECT 223.4	11.7	4.2	4.50	52.7	2.2	2.40	28.1				
計	44.5			200.9			105.9				

#### 3-6.F箇所

##### 1号基礎工

$$L = (\text{展開図より}) = 44.5 \text{ m}$$

$$V = (\text{単位数量計算書より}) \quad 1.36 \div 10.0 \times 44.5 = 6.05 \text{ m}^3$$

##### 1号天端工

$$L = (\text{展開図より}) = 44.5 \text{ m}$$

$$V = (\text{単位数量計算書より}) \quad 0.25 \div 10.0 \times 44.5 = 1.11 \text{ m}^3$$

##### 1号コンクリートブロック積

中詰材(割栗石)

$$V = 200.9 \times 0.265 = 53.1 \text{ m}^3$$

※中詰め材数量はm2当たりの標準使用量とした。

吸出し防止材(合成不織布t=10mm、9.8kN/m)

$$A = (\text{ブロック積面積と同じ}) = 200.3 \text{ m}^2$$

6号小口止工 N= 1.0 箇所

    コンクリート V= (単位数量計算書より) = 0.71 m<sup>3</sup>

    一般型枠 A= (単位数量計算書より) = 4.89 m<sup>2</sup>

    化粧型枠 A= (単位数量計算書より) = 0.66 m<sup>3</sup>

7号小口止工 N= 1.0 箇所

    コンクリート V= (単位数量計算書より) = 0.85 m<sup>3</sup>

    一般型枠 A= (単位数量計算書より) = 5.83 m<sup>2</sup>

    化粧型枠 A= (単位数量計算書より) = 0.79 m<sup>3</sup>

1号間切工 N= 1.0 箇所

    コンクリート V= (単位数量計算書より) = 0.94 m<sup>3</sup>

    一般型枠 A= (単位数量計算書より) = 6.42 m<sup>2</sup>

    化粧型枠 A= (単位数量計算書より) = 0.87 m<sup>3</sup>

2号間切工 N= 1.0 箇所

    コンクリート V= (単位数量計算書より) = 1.02 m<sup>3</sup>

    一般型枠 A= (単位数量計算書より) = 6.95 m<sup>2</sup>

    化粧型枠 A= (単位数量計算書より) = 0.95 m<sup>3</sup>

護床工 底張ブロック

$$A = 103.8 \text{ m}^2$$

$$\text{個数} = (\text{単位数量計算書より}) \quad 103.8 \div 10.0 \times 62.5 = 648.8 \text{ 個}$$

構造物取壊し工

    コンクリート取り壊し

$$V = 0.8 \times 5 + (4.0 \times 2.5 + 2.4 \times 2.5 + 7.4 \times 2.5) \times 0.1 = 7.5 \text{ m}^3$$

$$7.50 \times 2.35 = 17.6 \text{ t}$$

運搬処分 練石積

$$V = ((2.1 + 0.7) \div 2 \times 2.2) \times 0.35 = 1.1 \text{ m}^3$$

$$W = 1.1 \times 2.35 = 2.6 \text{ t}$$

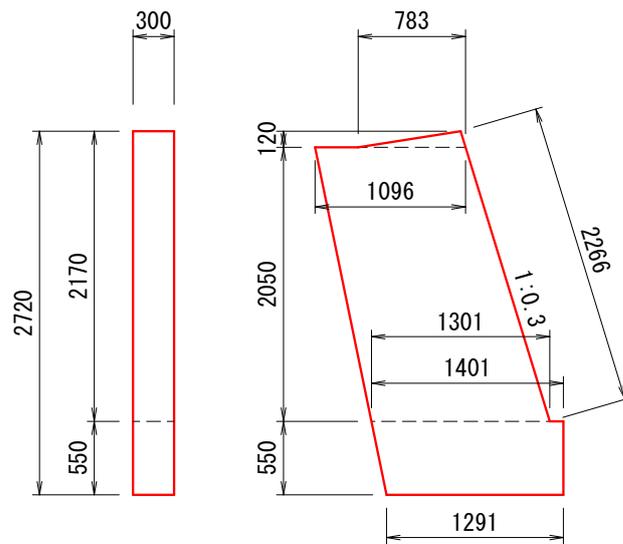




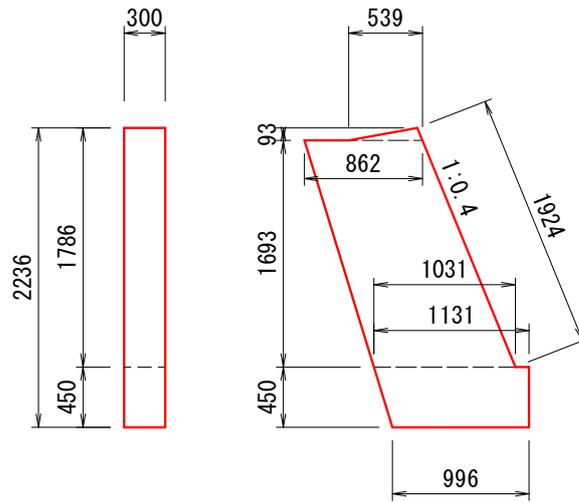




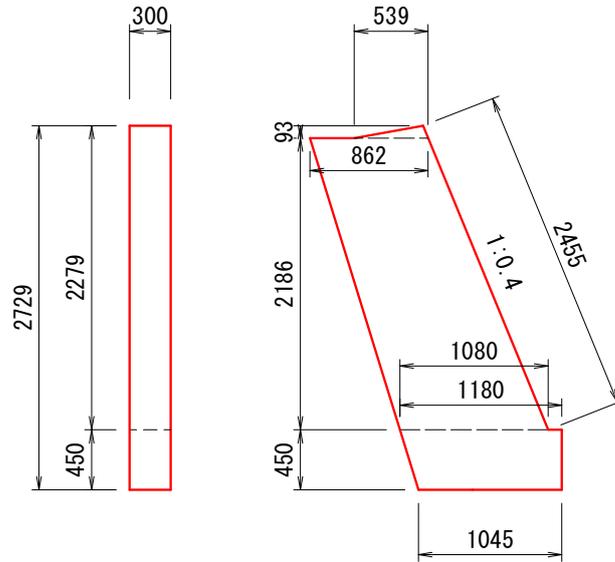




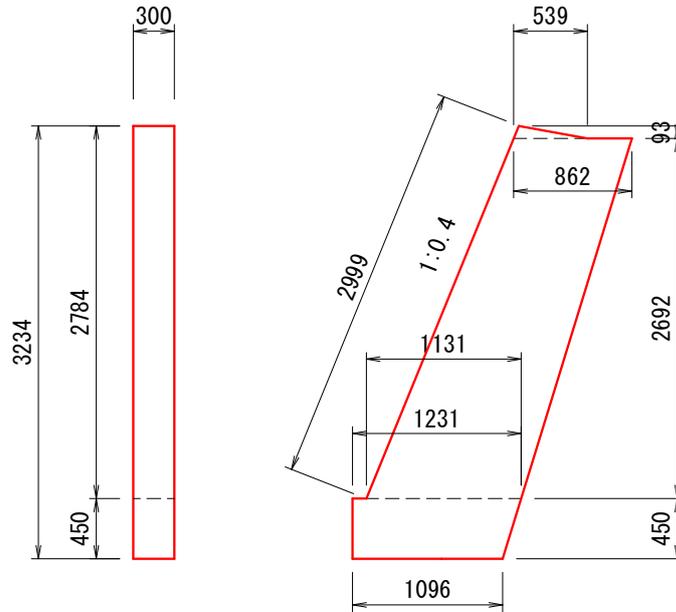
材料/規格	計算式	全体 1.0 箇所		
		単位	単位数量	全体数量
コンクリート $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$\{0.783 \times 0.120 \div 2 + (1.096 + 1.301) \times 2.050 \div 2 + (1.401 + 1.291) \div 2 \times 0.550\} \times 0.300$	m3	0.973	0.97
型枠 一般型枠	$\{0.783 \times 0.120 \div 2 + (1.096 + 1.301) \times 2.050 \div 2 + (1.401 + 1.291) \div 2 \times 0.550\} \times 2 + 0.550 \times 0.300$	m2	6.653	6.65
型枠 化粧型枠	$3.634 \times 0.300$	m2	1.090	1.09



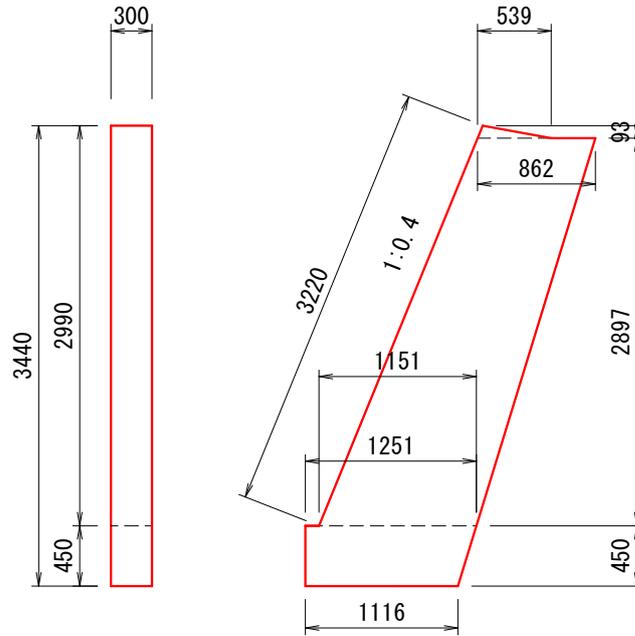
材料/規格	計算式	全体 1.0 箇所		
		単位	単位数量	全体数量
コンクリート $\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$\{0.539 \times 0.093 \div 2 + (0.862 + 1.031) \times 1.693 \div 2 + (1.131 + 0.996) \div 2 \times 0.450\} \times 0.300$	m3	0.632	0.63
型枠 一般型枠	$\{0.539 \times 0.093 \div 2 + (0.862 + 1.031) \times 1.693 \div 2 + (1.131 + 0.996) \div 2 \times 0.450\} \times 2 + 0.450 \times 0.300$	m2	4.347	4.35
型枠 化粧型枠	$1.924 \times 0.300$	m2	0.577	0.58



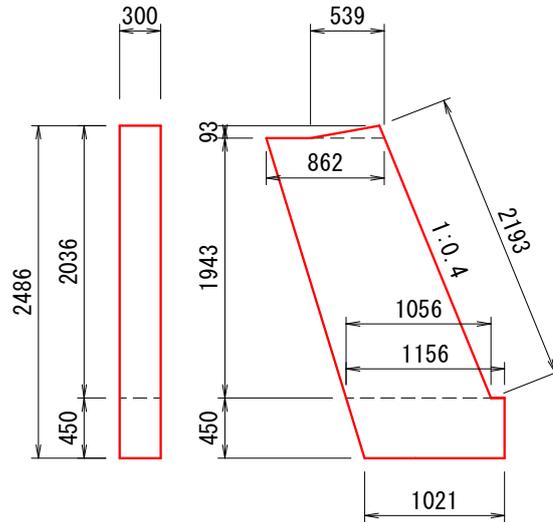
材料/規格	計算式	全体 1.0 箇所		
		単位	単位数量	全体数量
コンクリート σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	$\{0.539 \times 0.093 \div 2 + (0.862 + 1.080) \times 2.186 \div 2 + (1.180 + 1.045) \div 2 \times 0.450\} \times 0.300$	m <sup>3</sup>	0.794	0.79
型枠 一般型枠	$\{0.539 \times 0.093 \div 2 + (0.862 + 1.080) \times 2.186 \div 2 + (1.180 + 1.045) \div 2 \times 0.450\} \times 2 + 0.450 \times 0.300$	m <sup>2</sup>	5.432	5.43
型枠 化粧型枠	$2.455 \times 0.300$	m <sup>2</sup>	0.737	0.74



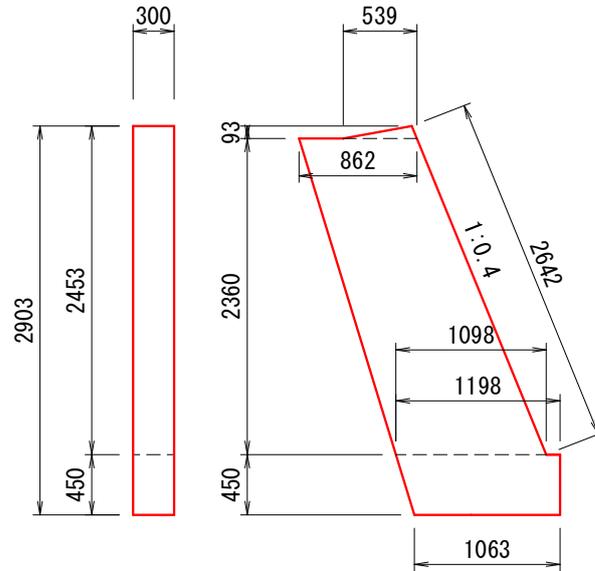
材料/規格	計算式	全体 1.0 箇所		
		単位	単位数量	全体数量
コンクリート σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	$\{0.539 \times 0.093 \div 2 + (0.862 + 1.131) \times 2.692 \div 2 + (1.231 + 1.096) \div 2 \times 0.450\} \times 0.300$	m <sup>3</sup>	0.969	0.97
型枠 一般型枠	$\{0.539 \times 0.093 \div 2 + (0.862 + 1.131) \times 2.692 \div 2 + (1.231 + 1.096) \div 2 \times 0.450\} \times 2 + 0.450 \times 0.300$	m <sup>2</sup>	6.597	6.60
型枠 化粧型枠	$2.999 \times 0.300$	m <sup>2</sup>	0.900	0.90



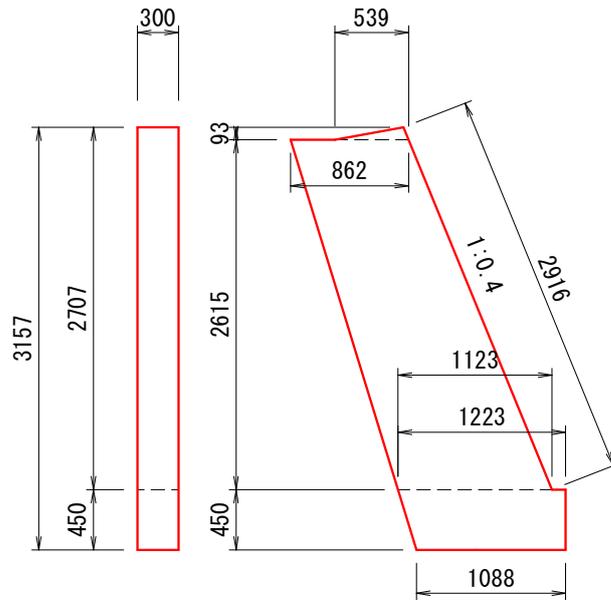
材料/規格	計算式	全体 1.0 箇所		
		単位	単位数量	全体数量
コンクリート $\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$\{0.539 \times 0.093 \div 2 + (0.862 + 1.151) \times 2.897 \div 2 + (1.251 + 1.116) \div 2 \times 0.450\} \times 0.300$	m3	1.042	1.04
型枠 一般型枠	$\{0.539 \times 0.093 \div 2 + (0.862 + 1.151) \times 2.897 \div 2 + (1.251 + 1.116) \div 2 \times 0.450\} \times 2 + 0.450 \times 0.300$	m2	7.082	7.08
型枠 化粧型枠	$3.220 \times 0.300$	m2	0.966	0.97



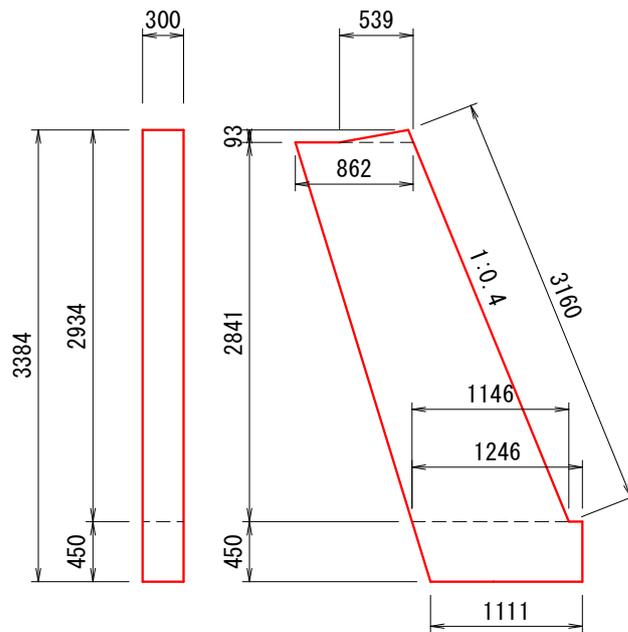
材料/規格	計算式	全体 1.0 箇所		
		単位	単位数量	全体数量
コンクリート σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	$\{0.539 \times 0.093 \div 2 + (0.862 + 1.056) \times 1.943 \div 2 + (1.156 + 1.021) \div 2 \times 0.450\} \times 0.300$	m <sup>3</sup>	0.713	0.71
型枠 一般型枠	$\{0.539 \times 0.093 \div 2 + (0.862 + 1.056) \times 1.943 \div 2 + (1.156 + 1.021) \div 2 \times 0.450\} \times 2 + 0.450 \times 0.300$	m <sup>2</sup>	4.891	4.89
型枠 化粧型枠	$2.193 \times 0.300$	m <sup>2</sup>	0.658	0.66



材料/規格	計算式	全体 1.0 箇所		
		単位	単位数量	全体数量
コンクリート σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	$\{0.539 \times 0.093 \div 2 + (0.862 + 1.098) \times 2.360 \div 2 + (1.198 + 1.063) \div 2 \times 0.450\} \times 0.300$	m <sup>3</sup>	0.854	0.85
型枠 一般型枠	$\{0.539 \times 0.093 \div 2 + (0.862 + 1.098) \times 2.360 \div 2 + (1.198 + 1.063) \div 2 \times 0.450\} \times 2 + 0.450 \times 0.300$	m <sup>2</sup>	5.828	5.83
型枠 化粧型枠	$2.642 \times 0.300$	m <sup>2</sup>	0.793	0.79

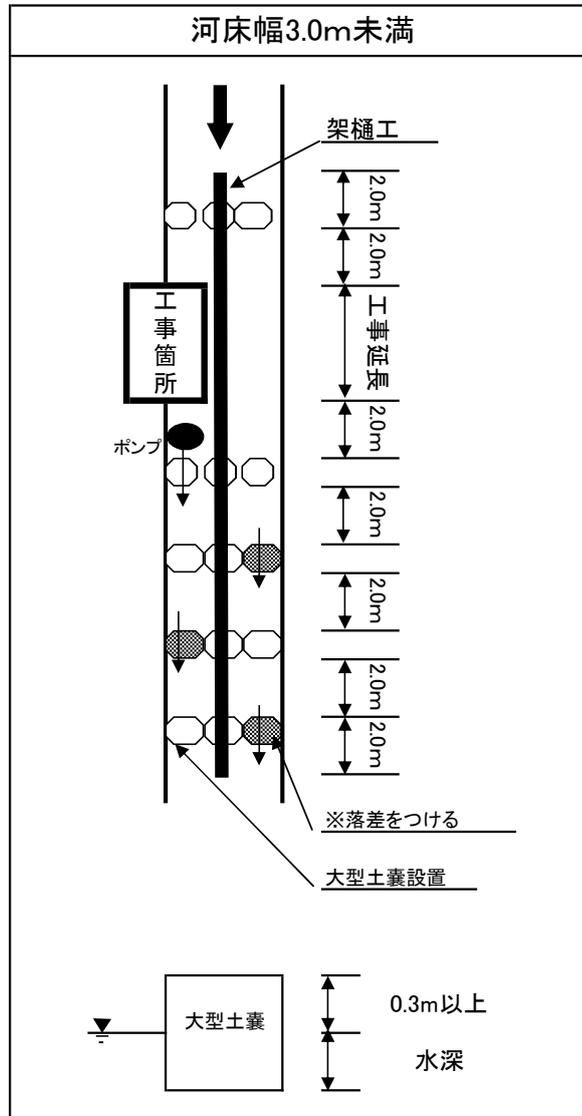


材料/規格	計算式	全体 1.0 箇所		
		単位	単位数量	全体数量
コンクリート σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	$\{0.539 \times 0.093 \div 2 + (0.862 + 1.123) \times 2.615 \div 2 + (1.223 + 1.088) \div 2 \times 0.450\} \times 0.300$	m <sup>3</sup>	0.942	0.94
型枠 一般型枠	$\{0.539 \times 0.093 \div 2 + (0.862 + 1.123) \times 2.615 \div 2 + (1.223 + 1.088) \div 2 \times 0.450\} \times 2 + 0.450 \times 0.300$	m <sup>2</sup>	6.416	6.42
型枠 化粧型枠	$2.916 \times 0.300$	m <sup>2</sup>	0.875	0.87



材料/規格	計算式	全体 1.0 箇所		
		単位	単位数	全体数量
コンクリート σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	$\{0.539 \times 0.093 \div 2 + (0.862 + 1.146) \times 2.841 \div 2 + (1.246 + 1.111) \div 2 \times 0.450\} \times 0.300$	m <sup>3</sup>	1.022	1.02
型枠 一般型枠	$\{0.539 \times 0.093 \div 2 + (0.862 + 1.146) \times 2.841 \div 2 + (1.246 + 1.111) \div 2 \times 0.450\} \times 2 + 0.450 \times 0.300$	m <sup>2</sup>	6.951	6.95
型枠 化粧型枠	$3.160 \times 0.300$	m <sup>2</sup>	0.948	0.95

上流平均水深 :	0.1	m	※終点側水深
上流河床幅 :	1.2	m	※終点側河床幅
下流平均水深 :	0.1	m	※起点側水深
下流河床幅 :	1.2	m	※起点側河床幅
工事延長 :	5.6	m	



● 仮締切工

- 河床幅3.0m未満の場合

$$\begin{aligned}
 \text{袋数 : } N &= (\text{上流河床幅} \times (\text{上流水深} + 0.3) + \text{下流河床幅} \times (\text{下流水深} + 0.3)) \div (1.08 \times 1.10) \\
 &= (1.0 \times (0.1 + 0.3) + 1.0 \times (0.1 + 0.3)) \div (1.08 \times 1.10) \quad \text{※河床幅を四捨五入し採用} \\
 &= 0.67 \\
 &\approx \underline{\underline{0.7 \text{ 個}}}
 \end{aligned}$$

● 沈砂池

- 河床幅3.0m未満の場合

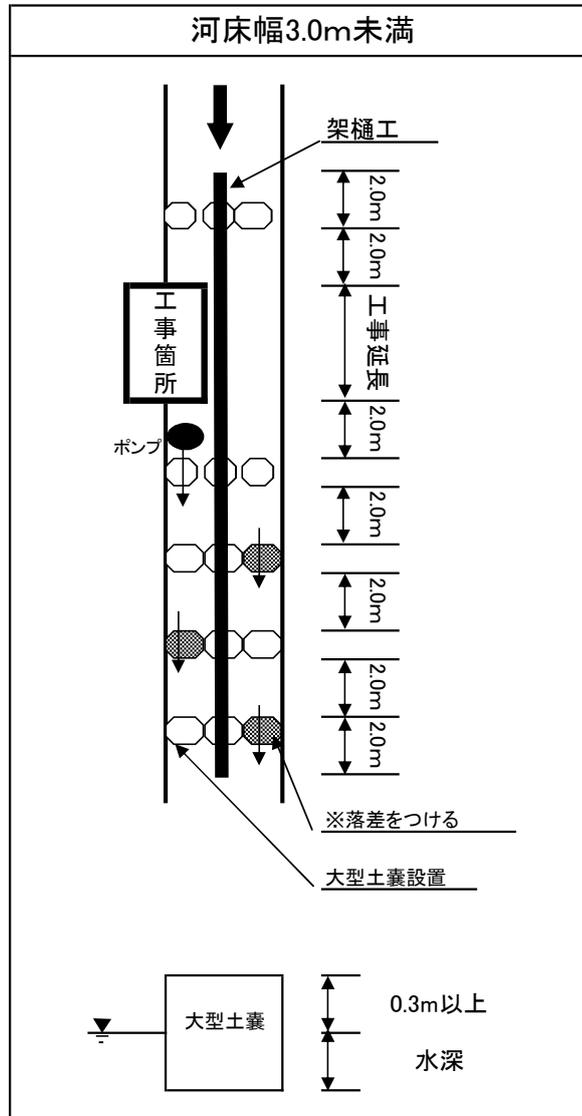
$$\begin{aligned}
 \text{袋数 : } N &= \text{河床幅} \times 3 \div (1.08 \times 1.10) \times (\text{下流水深} + 0.3) \\
 &= 1.0 \times 3 \div (1.08 \times 1.10) \times (\text{下流水深} + 0.3) \quad \text{※下流河床幅を四捨五入し採用} \\
 &= 1.01 \\
 &\approx \underline{\underline{1.1 \text{ 個}}}
 \end{aligned}$$

● 架橋工

- 河床幅3.0m未満の場合のみ

$$\begin{aligned}
 \text{延長 : } L &= 2 + 2 + \text{工事延長} + 2 + 1 + 2 + 1 + 2 + 1 + 2 + 2 \\
 &= 2 + 2 + 5.6 + 2 + 1 + 2 + 1 + 2 + 1 + 2 + 2 \\
 &= 22.6 \\
 &= \underline{\underline{22.6 \text{ m}}}
 \end{aligned}$$

上流平均水深 :	0.4	m	※終点側水深
上流河床幅 :	2.2	m	※終点側河床幅
下流平均水深 :	0.4	m	※起点側水深
下流河床幅 :	0.9	m	※起点側河床幅
工事延長 :	5.5	m	



● 仮締切工

- 河床幅3.0m未満の場合

$$\begin{aligned}
 \text{袋数 : } N &= (\text{上流河床幅} \times (\text{上流水深} + 0.3) + \text{下流河床幅} \times (\text{下流水深} + 0.3)) \div (1.08 \times 1.10) \\
 &= (2.0 \times (0.4 + 0.3) + 1.0 \times (0.4 + 0.3)) \div (1.08 \times 1.10) \quad \text{※河床幅を四捨五入し採用} \\
 &= 1.77 \\
 &\underline{\underline{\approx 1.8 \text{ 個}}}
 \end{aligned}$$

● 沈砂池

- 河床幅3.0m未満の場合

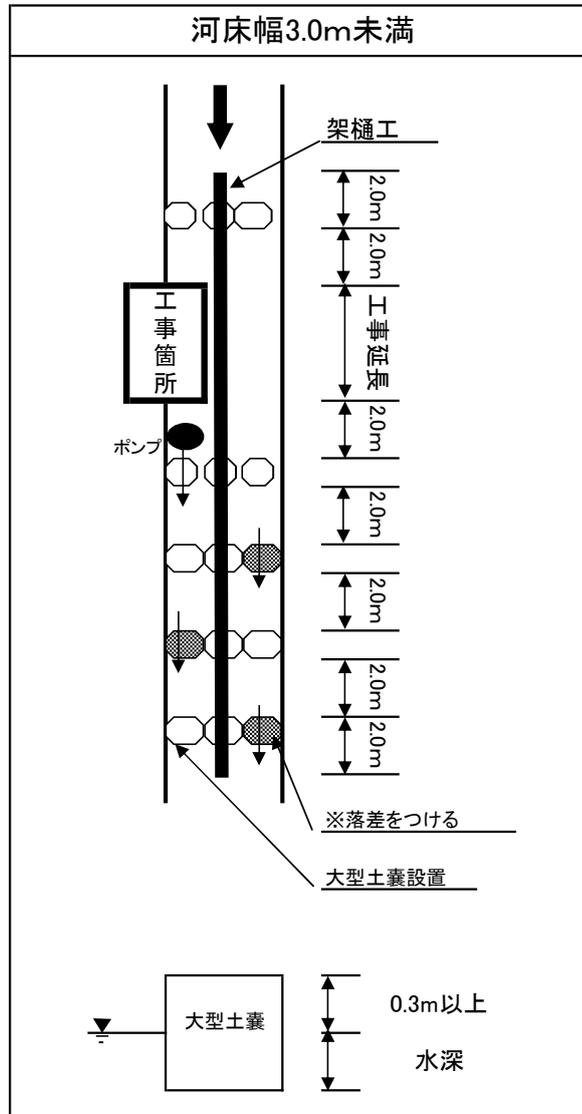
$$\begin{aligned}
 \text{袋数 : } N &= \text{河床幅} \times 3 \div (1.08 \times 1.10) \times (\text{下流水深} + 0.3) \\
 &= 1.0 \times 3 \div (1.08 \times 1.10) \times (\text{下流水深} + 0.3) \quad \text{※下流河床幅を四捨五入し採用} \\
 &= 1.77 \\
 &\underline{\underline{\approx 1.8 \text{ 個}}}
 \end{aligned}$$

● 架橋工

- 河床幅3.0m未満の場合のみ

$$\begin{aligned}
 \text{延長 : } L &= 2 + 2 + \text{工事延長} + 2 + 1 + 2 + 1 + 2 + 1 + 2 + 2 \\
 &= 2 + 2 + 5.5 + 2 + 1 + 2 + 1 + 2 + 1 + 2 + 2 \\
 &= 22.5 \\
 &\underline{\underline{= 22.5 \text{ m}}}
 \end{aligned}$$

上流平均水深 :	0.2	m	※終点側水深
上流河床幅 :	1.2	m	※終点側河床幅
下流平均水深 :	0.2	m	※起点側水深
下流河床幅 :	1.7	m	※起点側河床幅
工事延長 :	37.5	m	



● 仮締切工

- 河床幅3.0m未満の場合

$$\begin{aligned}
 \text{袋数 : } N &= (\text{上流河床幅} \times (\text{上流水深} + 0.3) + \text{下流河床幅} \times (\text{下流水深} + 0.3)) \div (1.08 \times 1.10) \\
 &= (1.0 \times (0.2 + 0.3) + 2.0 \times (0.2 + 0.3)) \div (1.08 \times 1.10) \quad \text{※河床幅を四捨五入し採用} \\
 &= 1.26 \\
 &\underline{\underline{\approx 1.3 \text{ 個}}}
 \end{aligned}$$

● 沈砂池

- 河床幅3.0m未満の場合

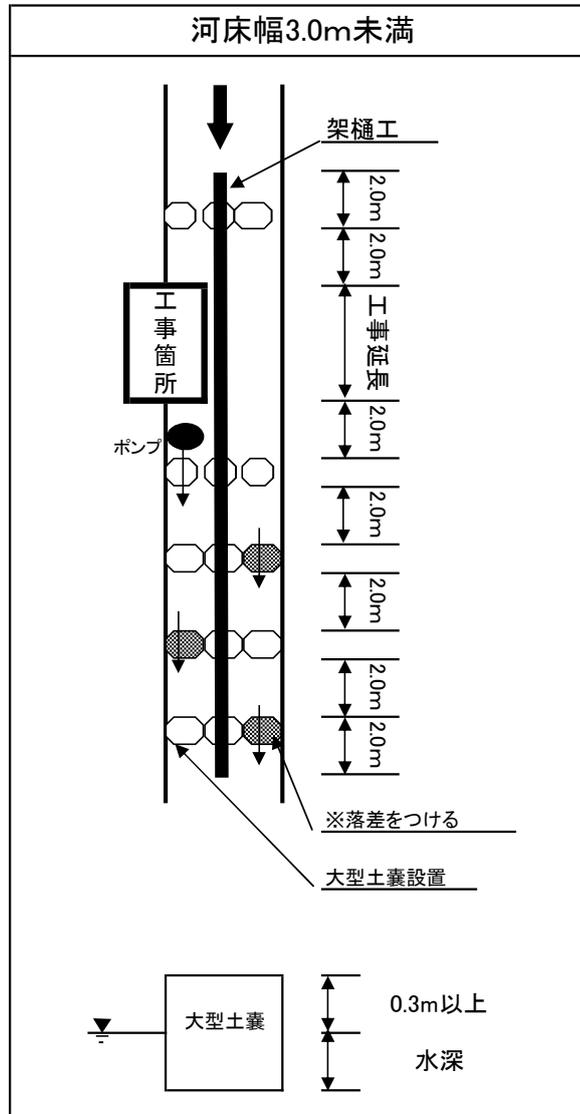
$$\begin{aligned}
 \text{袋数 : } N &= \text{河床幅} \times 3 \div (1.08 \times 1.10) \times (\text{下流水深} + 0.3) \\
 &= 2.0 \times 3 \div (1.08 \times 1.10) \times (\text{下流水深} + 0.3) \quad \text{※下流河床幅を四捨五入し採用} \\
 &= 2.53 \\
 &\underline{\underline{\approx 2.6 \text{ 個}}}
 \end{aligned}$$

● 架橋工

- 河床幅3.0m未満の場合のみ

$$\begin{aligned}
 \text{延長 : } L &= 2 + 2 + \text{工事延長} + 2 + 1 + 2 + 1 + 2 + 1 + 2 + 2 \\
 &= 2 + 2 + 37.5 + 2 + 1 + 2 + 1 + 2 + 1 + 2 + 2 \\
 &= 54.5 \\
 &\underline{\underline{= 54.5 \text{ m}}}
 \end{aligned}$$

上流平均水深 :	0.2	m	※終点側水深
上流河床幅 :	1.9	m	※終点側河床幅
下流平均水深 :	0.2	m	※起点側水深
下流河床幅 :	2.5	m	※起点側河床幅
工事延長 :	7.5	m	



● 仮締切工

- 河床幅3.0m未満の場合

$$\begin{aligned}
 \text{袋数 : } N &= (\text{上流河床幅} \times (\text{上流水深} + 0.3) + \text{下流河床幅} \times (\text{下流水深} + 0.3)) \div (1.08 \times 1.10) \\
 &= (2.0 \times (0.2 + 0.3) + 3.0 \times (0.2 + 0.3)) \div (1.08 \times 1.10) \quad \text{※河床幅を四捨五入し採用} \\
 &= 2.1 \\
 &\underline{\underline{\approx 2.1 \text{ 個}}}
 \end{aligned}$$

● 沈砂池

- 河床幅3.0m未満の場合

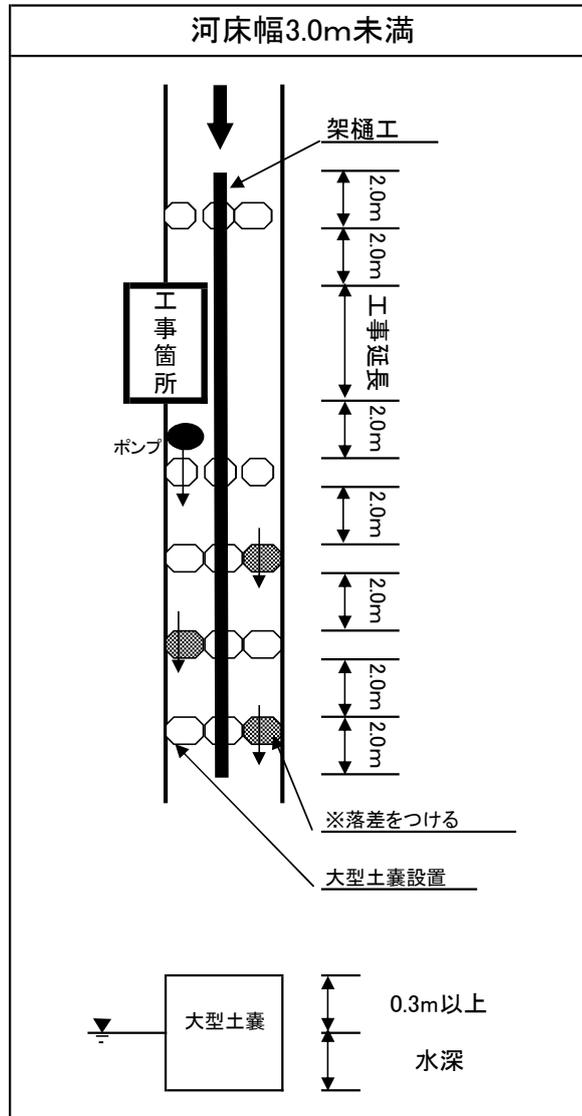
$$\begin{aligned}
 \text{袋数 : } N &= \text{河床幅} \times 3 \div (1.08 \times 1.10) \times (\text{下流水深} + 0.3) \\
 &= 3.0 \times 3 \div (1.08 \times 1.10) \times (\text{下流水深} + 0.3) \quad \text{※下流河床幅を四捨五入し採用} \\
 &= 3.79 \\
 &\underline{\underline{\approx 3.8 \text{ 個}}}
 \end{aligned}$$

● 架橋工

- 河床幅3.0m未満の場合のみ

$$\begin{aligned}
 \text{延長 : } L &= 2 + 2 + \text{工事延長} + 2 + 1 + 2 + 1 + 2 + 1 + 2 + 2 \\
 &= 2 + 2 + 7.5 + 2 + 1 + 2 + 1 + 2 + 1 + 2 + 2 \\
 &= 24.5 \\
 &\underline{\underline{= 24.5 \text{ m}}}
 \end{aligned}$$

上流平均水深：	0.2	m ※終点側水深
上流河床幅：	2.2	m ※終点側河床幅
下流平均水深：	0.2	m ※起点側水深
下流河床幅：	2.3	m ※起点側河床幅
工事延長：	45.7	m



● 仮締切工

- 河床幅3.0m未満の場合

$$\begin{aligned}
 \text{袋数 : } N &= (\text{上流河床幅} \times (\text{上流水深} + 0.3) + \text{下流河床幅} \times (\text{下流水深} + 0.3)) \div (1.08 \times 1.10) \\
 &= (2.0 \times (0.2 + 0.3) + 2.0 \times (0.2 + 0.3)) \div (1.08 \times 1.10) \quad \text{※河床幅を四捨五入し採用} \\
 &= 1.68 \\
 &\approx \underline{\underline{1.7 \text{ 個}}}
 \end{aligned}$$

● 沈砂池

- 河床幅3.0m未満の場合

$$\begin{aligned}
 \text{袋数 : } N &= \text{河床幅} \times 3 \div (1.08 \times 1.10) \times (\text{下流水深} + 0.3) \\
 &= 2.0 \times 3 \div (1.08 \times 1.10) \times (\text{下流水深} + 0.3) \quad \text{※下流河床幅を四捨五入し採用} \\
 &= 2.53 \\
 &\approx \underline{\underline{2.6 \text{ 個}}}
 \end{aligned}$$

● 架橋工

- 河床幅3.0m未満の場合のみ

$$\begin{aligned}
 \text{延長 : } L &= 2 + 2 + \text{工事延長} + 2 + 1 + 2 + 1 + 2 + 1 + 2 + 2 \\
 &= 2 + 2 + 45.7 + 2 + 1 + 2 + 1 + 2 + 1 + 2 + 2 \\
 &= 62.7 \\
 &= \underline{\underline{62.7 \text{ m}}}
 \end{aligned}$$



## 4.水替え対象数量計算書

### 4-2.B箇所

測点	距離 (m)	掘削(礫質土) C			床掘(礫質土) E			埋戻し Fu			摘要
		断面積	平均	立積	断面積	平均	立積	断面積	平均	立積	
SECT 0.0					0.6			0.0			
SECT 3.0	3.0				0.0	0.30	0.9	0.8	0.40	1.2	
SECT 5.5	2.5				0.3	0.15	0.4	0.2	0.50	1.3	
計	5.5						1.3			2.5	
測点	距離 (m)	底張コンクリート W1			均しコンクリート W2						摘要
		幅	平均	面積	幅	平均	面積				
SECT 0.0		2.2			1.9						
SECT 3.0	3.0	2.2	2.20	6.6	2.0	1.95	5.9				
SECT 5.5	2.5	1.7	1.95	4.9	1.4	1.70	4.3				
計	5.5			11.5			10.2			0.0	
測点	距離 (m)										摘要
計	0.0			0.0			0.0				

護床工

底張コンクリート	A=	=	11.5 m <sup>2</sup>
	V= 11.5 × 0.20	=	2.3 m <sup>3</sup>
均しコンクリート	A=	=	10.2 m <sup>2</sup>
	V= 10.2 × 0.10	=	1.0 m <sup>3</sup>

## 4.水替え対象数量計算書

### 4-3.C箇所

測点	距離 (m)	掘削(礫質土) C			床掘(礫質土) E			基礎コンクリート			摘要
		断面積	平均	立積	断面積	平均	立積	断面積	平均	立積	
SECT 56.0		0.3			1.0			0.2			
SECT 59.0	3.0	0.1	0.20	0.6	0.6	0.80	2.4	1.7	0.95	2.9	
SECT 61.0	2.0	0.3	0.20	0.4	2.0	1.30	2.6	1.5	1.60	3.2	
計	5.0			1.0			5.0			6.1	
測点	距離 (m)	基面整正 K						均しコンクリート W2			摘要
		長さ	平均	面積				幅	平均	面積	
SECT 56.0		0.8						1.0			
SECT 59.0	3.0	1.0	0.90	2.7				1.5	1.25	3.8	
SECT 61.0	2.0	1.0	1.00	2.0				1.3	1.40	2.8	
計	5.0			4.7						6.6	
測点	距離 (m)	1号コンクリートブロック積 SL			裏込材(RC-40) Gv			底張コンクリート W1			摘要
		長さ	平均	面積	断面積	平均	立積	幅	平均	面積	
SECT 56.0		0.8			0.6			1.3			
SECT 59.0	3.0	0.5	0.65	2.0	0.4	0.50	1.5	1.8	1.55	4.7	
SECT 61.0	2.0							1.5	1.65	3.3	
計	5.0			2.0			1.5			8.0	
測点	距離 (m)	2号コンクリートブロック積 SL			裏込材(RC-40) Gv						摘要
		長さ	平均	面積	断面積	平均	立積				
SECT 56.0											
SECT 59.0	3.0	0.5			0.4						
SECT 60.7	1.7	0.9	0.70	1.2	0.9	0.65	1.1				
計	4.7			1.2			1.1				

### 3-3.C箇所

#### 1号基礎工

$$L = (\text{展開図より}) = 3.0 \text{ m}$$

$$V = (\text{単位数量計算書より}) \quad 1.36 \div 10.0 \times 3.0 = 0.41 \text{ m}^3$$

#### 2号基礎工

$$L = (\text{展開図より}) = 1.7 \text{ m}$$

$$V = (\text{単位数量計算書より}) \quad 2.32 \div 10.0 \times 1.7 = 0.39 \text{ m}^3$$

#### 1号コンクリートブロック積

##### 中詰め材(割栗石)

$$V = 2.0 \times 0.265 = 0.5 \text{ m}^3$$

※中詰め材数量はm2当たりの標準使用量とした。

吸出し防止材(合成不織布t=10mm、9.8kN/m)

	A= (ブロック積面積と同じ)	=	2.0 m <sup>2</sup>
2号コンクリートブロック積			
	中詰め材(中詰めコンクリート $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$ )		
	V= 1.2 × 0.451	=	0.5 m <sup>3</sup>
	※中詰め材数量はm <sup>2</sup> 当たりの標準使用量とした。		

	1号小口止工	N=	1.0 箇所
	コンクリート	V= (単位数量計算書より)	= 0.97 m <sup>3</sup>
	一般型枠	A= (単位数量計算書より)	= 6.65 m <sup>2</sup>
	化粧型枠	A= (単位数量計算書より)	= 1.09 m <sup>3</sup>
護床工			
	底張コンクリート	A=	= 8.0 m <sup>2</sup>
		V= 8.0 × 0.20	= 1.6 m <sup>3</sup>
	均しコンクリート	A=	= 6.6 m <sup>2</sup>
		V= 6.6 × 0.10	= 0.7 m <sup>3</sup>

## 4.水替え対象数量計算書

### 4-4.D箇所

測点	距離 (m)	掘削(礫質土) C			床掘(礫質土) E			埋戻し Fu			摘要
		断面積	平均	立積	断面積	平均	立積	断面積	平均	立積	
SECT 72.0		0.8			2.0			0.3			
SECT 80.0	8.0	0.6	0.70	5.6	1.9	1.95	15.6	0.3	0.30	2.4	
SECT 93.5	13.5	0.4	0.50	6.8	1.6	1.75	23.6	0.3	0.30	4.1	
計	21.5			12.4			39.2			6.5	
測点	距離 (m)	基面整正 K			底張ブロック			摘要			
		長さ	平均	面積	幅	平均	面積				
SECT 72.0		0.8					3.5				
SECT 80.0	8.0	0.8	0.80	6.4			3.0	3.25	26.0		
SECT 93.5	13.5	0.8	0.80	10.8			1.7	2.35	31.7		
計	21.5			17.2					57.7		
測点	距離 (m)	1号コンクリートブロック積 SL			裏込材(RC-40) Gv			摘要			
		長さ	平均	面積	断面積	平均	立積				
SECT 72.3		0.7			0.5						
SECT 80.0	7.7	0.8	0.75	5.8	0.8	0.65	5.0				
SECT 93.2	13.2	0.7	0.75	9.9	0.6	0.70	9.2				
計	20.9			15.7			14.2				

#### 1号基礎工

$$L = (\text{展開図より}) = 20.9 \text{ m}$$

$$V = (\text{単位数量計算書より}) \quad 1.36 \div 10.0 \times 20.9 = 2.84 \text{ m}^3$$

#### 1号コンクリートブロック積

##### 中詰材(割栗石)

$$V = 15.7 \times 0.265 = 4.2 \text{ m}^3$$

※中詰め材数量はm2当たりの標準使用量とした。

##### 吸出し防止材(合成不織布t=10mm、9.8kN/m)

$$A = (\text{ブロック積面積と同じ}) = 15.7 \text{ m}^2$$

#### 2号小口止工

$$N = 1.0 \text{ 箇所}$$

$$\text{コンクリート} \quad V = (\text{単位数量計算書より}) = 0.63 \text{ m}^3$$

$$\text{一般型枠} \quad A = (\text{単位数量計算書より}) = 4.35 \text{ m}^2$$

$$\text{化粧型枠} \quad A = (\text{単位数量計算書より}) = 0.58 \text{ m}^2$$

#### 3号小口止工

$$N = 1.0 \text{ 箇所}$$

$$\text{コンクリート} \quad V = (\text{単位数量計算書より}) = 0.79 \text{ m}^3$$

$$\text{一般型枠} \quad A = (\text{単位数量計算書より}) = 5.43 \text{ m}^2$$

$$\text{化粧型枠} \quad A = (\text{単位数量計算書より}) = 0.74 \text{ m}^2$$

#### 護床工

##### 底張ブロック

$$A = 57.7 \text{ m}^2$$

$$\text{個数} = (\text{単位数量計算書より}) \quad 57.7 \div 10.0 \times 62.5 = 360.6 \text{ 個}$$

## 4.水替え対象数量計算書

### 4-5.E箇所

測点	距離 (m)	掘削(礫質土) C			床掘(礫質土) E			埋戻し Fu			摘要
		断面積	平均	立積	断面積	平均	立積	断面積	平均	立積	
SECT 113.0		3.4			1.7			0.3			
SECT 117.0	4.0	4.4	3.90	15.6	1.8	1.75	7.0	0.3	0.30	1.2	
SECT 120.5	3.5	4.1	4.25	14.9	1.8	1.80	6.3	0.3	0.30	1.1	
計	7.5			30.5			13.3			2.3	
測点	距離 (m)	基面整正 K									摘要
		長さ	平均	面積							
SECT 113.0		0.8									
SECT 117.0	4.0	0.8	0.80	3.2							
SECT 120.5	3.5	0.8	0.80	2.8							
計	7.5			6.0							
測点	距離 (m)	1号コンクリートブロック積 SL			裏込材(RC-40) Gv			底張ブロック			摘要
		長さ	平均	面積	断面積	平均	立積	幅	平均	面積	
SECT 113.3		0.7			0.6			2.7			
SECT 117.0	3.7	1.1	0.90	3.3	0.8	0.70	2.6	2.4	2.55	9.4	
SECT 120.2	3.2	1.1	1.10	3.5	0.8	0.80	2.6	2.2	2.30	7.4	
計	6.9			6.8			5.2			16.8	

### 3-5.E箇所

#### 1号基礎工

$$L = (\text{展開図より}) = 6.9 \text{ m}$$

$$V = (\text{単位数量計算書より}) \quad 2.32 \div 10.0 \times 6.9 = 1.60 \text{ m}^3$$

#### 1号コンクリートブロック積

##### 中詰材(割栗石)

$$V = 6.8 \times 0.265 = 1.8 \text{ m}^3$$

※中詰め材数量はm2当たりの標準使用量とした。

##### 吸出し防止材(合成不織布t=10mm、9.8kN/m)

$$A = (\text{ブロック積面積と同じ}) = 6.8 \text{ m}^2$$

#### 4号小口止工

$$N = 1.0 \text{ 箇所}$$

$$\text{コンクリート} \quad V = (\text{単位数量計算書より}) = 0.97 \text{ m}^3$$

$$\text{一般型枠} \quad A = (\text{単位数量計算書より}) = 6.60 \text{ m}^2$$

$$\text{化粧型枠} \quad A = (\text{単位数量計算書より}) = 0.90 \text{ m}^3$$

#### 5号小口止工

$$N = 1.0 \text{ 箇所}$$

$$\text{コンクリート} \quad V = (\text{単位数量計算書より}) = 1.04 \text{ m}^3$$



## 4.水替え対象数量計算書

### 4-6.F箇所

測点	距離 (m)	掘削(礫質土) C			床掘(礫質土) E			埋戻し Fu			摘要
		断面積	平均	立積	断面積	平均	立積	断面積	平均	立積	
SECT 178.0		1.6			0.8			0.3			
SECT 187.7	9.7	1.9	1.75	17.0	0.8	0.80	7.8	0.3	0.30	2.9	
SECT 200.8	13.1	5.2	3.55	46.5	1.5	1.15	15.1	0.3	0.30	3.9	
SECT 211.7	10.9	4.5	4.85	52.9	1.7	1.60	17.4	0.3	0.30	3.3	
SECT 223.7	12.0	4.0	4.25	51.0	1.7	1.70	20.4	0.3	0.30	3.6	
計	45.7			167.4			60.7			13.7	
測点	距離 (m)	基面整正 K			底張ブロック			摘要			
		長さ	平均	面積	幅	平均	面積				
SECT 178.0		0.8			3.6						
SECT 187.7	9.7	0.8	0.80	7.8	2.1	2.85	27.6				
SECT 200.8	13.1	0.8	0.80	10.5	2.0	2.05	26.9				
SECT 211.7	10.9	0.8	0.80	8.7	2.2	2.10	22.9				
SECT 223.7	12.0	0.8	0.80	9.6	2.2	2.20	26.4				
計	45.7			36.6			103.8				
測点	距離 (m)	1号コンクリートブロック積 SL			裏込材(RC-40) Gv			摘要			
		長さ	平均	面積	断面積	平均	立積				
SECT 178.3		0.0			0.1						
SECT 187.7	9.4	0.2	0.10	0.9	0.4	0.25	2.4				
SECT 193.3	5.6	0.2	0.20	1.1	0.1	0.25	1.4				
SECT 193.6		0.2			0.1	0.10	0.0				
SECT 200.8	7.2	0.0	0.10	0.7	0.1	0.10	0.7				
SECT 208.6	7.8	1.7	0.85	6.6	1.1	0.60	4.7				
SECT 208.9		1.7			1.1	1.10	0.0				
SECT 211.7	2.8	1.7	1.70	4.8	1.1	1.10	3.1				
SECT 223.4	11.7	0.8	1.25	14.6	0.6	0.85	9.9				
計	44.5			28.7			22.2				

### 3-6.F箇所

#### 1号基礎工

$$L = (\text{展開図より}) = 44.5 \text{ m}$$

$$V = (\text{単位数量計算書より}) \quad 1.36 \div 10.0 \times 44.5 = 6.05 \text{ m}^3$$

#### 1号コンクリートブロック積

##### 中詰材(割栗石)

$$V = 28.7 \times 0.265 = 7.6 \text{ m}^3$$

※中詰め材数量はm2当たりの標準使用量とした。

吸出し防止材(合成不織布t=10mm、9.8kN/m)

$$A = (\text{ブロック積面積と同じ}) = 28.7 \text{ m}^2$$

$$\text{6号小口止工} \quad N = 1.0 \text{ 箇所}$$

$$\text{コンクリート} \quad V = (\text{単位数量計算書より}) = 0.71 \text{ m}^3$$

$$\text{一般型枠} \quad A = (\text{単位数量計算書より}) = 4.89 \text{ m}^2$$

$$\text{化粧型枠} \quad A = (\text{単位数量計算書より}) = 0.66 \text{ m}^3$$

$$\text{7号小口止工} \quad N = 1.0 \text{ 箇所}$$

$$\text{コンクリート} \quad V = (\text{単位数量計算書より}) = 0.85 \text{ m}^3$$

$$\text{一般型枠} \quad A = (\text{単位数量計算書より}) = 5.83 \text{ m}^2$$

$$\text{化粧型枠} \quad A = (\text{単位数量計算書より}) = 0.79 \text{ m}^3$$

$$\text{1号間切工} \quad N = 1.0 \text{ 箇所}$$

$$\text{コンクリート} \quad V = (\text{単位数量計算書より}) = 0.94 \text{ m}^3$$

$$\text{一般型枠} \quad A = (\text{単位数量計算書より}) = 6.42 \text{ m}^2$$

$$\text{化粧型枠} \quad A = (\text{単位数量計算書より}) = 0.87 \text{ m}^3$$

$$\text{2号間切工} \quad N = 1.0 \text{ 箇所}$$

$$\text{コンクリート} \quad V = (\text{単位数量計算書より}) = 1.02 \text{ m}^3$$

$$\text{一般型枠} \quad A = (\text{単位数量計算書より}) = 6.95 \text{ m}^2$$

$$\text{化粧型枠} \quad A = (\text{単位数量計算書より}) = 0.95 \text{ m}^3$$

護床工 底張ブロック

$$A = = 103.8 \text{ m}^2$$

$$\text{個数} = (\text{単位数量計算書より}) \quad 103.8 \div 10.0 \times 62.5 = 648.8 \text{ 個}$$

# 1.水替日数算定

<工事区分:築堤護岸>

【A~F】

工種	種別	細別	規格	単位	数量	備考
河川土工						
	掘削工					
		掘削	礫質土	m3	215.9	
法覆護岸工						
	コンクリートブロック工(コンクリートブロック積)					
		1号コンクリートブロック	控え50cm(中空)	m2	17.7	
		2号コンクリートブロック	控え75cm(中空)	m3	1.2	
		3号コンクリートブロック	控え50cm(中空)	m2	35.5	
		裏込材	RC-40	m3	44.2	
		胴込材	割栗石5~15cm	m3	14.6	
		吸出し防止材	合成不織布t=10mm	m2	54.4	
		小口止工		箇所	7.0	
		間切工		箇所	2.0	



## 4.水替え対象数量計算書

### 4-2.B箇所

測点	距離 (m)	掘削(礫質土) C			床掘(礫質土) E			埋戻し Fu			摘要
		断面積	平均	立積	断面積	平均	立積	断面積	平均	立積	
SECT 0.0					0.6			0.0			
SECT 3.0	3.0				0.0	0.30	0.9	0.8	0.40	1.2	
SECT 5.5	2.5				0.3	0.15	0.4	0.2	0.50	1.3	
計	5.5						1.3			2.5	
測点	距離 (m)	底張コンクリート W1			均しコンクリート W2						摘要
		幅	平均	面積	幅	平均	面積				
SECT 0.0		2.2			1.9						
SECT 3.0	3.0	2.2	2.20	6.6	2.0	1.95	5.9				
SECT 5.5	2.5	1.7	1.95	4.9	1.4	1.70	4.3				
計	5.5			11.5			10.2			0.0	
測点	距離 (m)										摘要
計	0.0			0.0			0.0				

護床工

底張コンクリート	A=	=	11.5 m <sup>2</sup>
	V= 11.5 × 0.20	=	2.3 m <sup>3</sup>
均しコンクリート	A=	=	10.2 m <sup>2</sup>
	V= 10.2 × 0.10	=	1.0 m <sup>3</sup>

## 4.水替え対象数量計算書

### 4-3.C箇所

測点	距離 (m)	掘削(礫質土) C			床掘(礫質土) E			基礎コンクリート			摘要
		断面積	平均	立積	断面積	平均	立積	断面積	平均	立積	
SECT 56.0		0.3			1.0			0.2			
SECT 59.0	3.0	0.1	0.20	0.6	0.6	0.80	2.4	1.7	0.95	2.9	
SECT 61.0	2.0	0.3	0.20	0.4	2.0	1.30	2.6	1.5	1.60	3.2	
計	5.0			1.0			5.0			6.1	
測点	距離 (m)	基面整正 K						均しコンクリート W2			摘要
		長さ	平均	面積				幅	平均	面積	
SECT 56.0		0.8						1.0			
SECT 59.0	3.0	1.0	0.90	2.7				1.5	1.25	3.8	
SECT 61.0	2.0	1.0	1.00	2.0				1.3	1.40	2.8	
計	5.0			4.7						6.6	
測点	距離 (m)	1号コンクリートブロック積 SL			裏込材(RC-40) Gv			底張コンクリート W1			摘要
		長さ	平均	面積	断面積	平均	立積	幅	平均	面積	
SECT 56.0		0.8			0.6			1.3			
SECT 59.0	3.0	0.5	0.65	2.0	0.4	0.50	1.5	1.8	1.55	4.7	
SECT 61.0	2.0							1.5	1.65	3.3	
計	5.0			2.0			1.5			8.0	
測点	距離 (m)	2号コンクリートブロック積 SL			裏込材(RC-40) Gv						摘要
		長さ	平均	面積	断面積	平均	立積				
SECT 56.0											
SECT 59.0	3.0	0.5			0.4						
SECT 60.7	1.7	0.9	0.70	1.2	0.9	0.65	1.1				
計	4.7			1.2			1.1				

### 3-3.C箇所

#### 1号基礎工

$$L = (\text{展開図より}) = 3.0 \text{ m}$$

$$V = (\text{単位数量計算書より}) \quad 1.36 \div 10.0 \times 3.0 = 0.41 \text{ m}^3$$

#### 2号基礎工

$$L = (\text{展開図より}) = 1.7 \text{ m}$$

$$V = (\text{単位数量計算書より}) \quad 2.32 \div 10.0 \times 1.7 = 0.39 \text{ m}^3$$

#### 1号小口止工

$$N = 1.0 \text{ 箇所}$$

$$\text{コンクリート} \quad V = (\text{単位数量計算書より}) = 0.97 \text{ m}^3$$

$$\text{一般型枠} \quad A = (\text{単位数量計算書より}) = 6.65 \text{ m}^2$$

$$\text{化粧型枠} \quad A = (\text{単位数量計算書より}) = 1.09 \text{ m}^3$$

#### 護床工

$$\text{底張コンクリート} \quad A = 8.0 \text{ m}^2$$

$$V = 8.0 \times 0.20 = 1.6 \text{ m}^3$$

$$\text{均しコンクリート} \quad A = 6.6 \text{ m}^2$$

$$V = 6.6 \times 0.10 = 0.7 \text{ m}^3$$

## 4.水替え対象数量計算書

### 4-4.D箇所

測点	距離 (m)	掘削(礫質土) C			床掘(礫質土) E			埋戻し Fu			摘要
		断面積	平均	立積	断面積	平均	立積	断面積	平均	立積	
SECT 72.0		0.8			2.0			0.3			
SECT 80.0	8.0	0.6	0.70	5.6	1.9	1.95	15.6	0.3	0.30	2.4	
SECT 93.5	13.5	0.4	0.50	6.8	1.6	1.75	23.6	0.3	0.30	4.1	
計	21.5			12.4			39.2			6.5	
測点	距離 (m)	基面整正 K			底張ブロック			摘要			
		長さ	平均	面積	幅	平均	面積				
SECT 72.0		0.8					3.5				
SECT 80.0	8.0	0.8	0.80	6.4			3.0	3.25	26.0		
SECT 93.5	13.5	0.8	0.80	10.8			1.7	2.35	31.7		
計	21.5			17.2					57.7		
測点	距離 (m)	1号コンクリートブロック積 SL			裏込材(RC-40) Gv			摘要			
		長さ	平均	面積	断面積	平均	立積				
SECT 72.3		0.7			0.5						
SECT 80.0	7.7	0.8	0.75	5.8	0.8	0.65	5.0				
SECT 93.2	13.2	0.7	0.75	9.9	0.6	0.70	9.2				
計	20.9			15.7			14.2				

#### 1号基礎工

$$L = (\text{展開図より}) = 20.9 \text{ m}$$

$$V = (\text{単位数量計算書より}) \quad 1.36 \div 10.0 \times 20.9 = 2.84 \text{ m}^3$$

#### 2号小口止工

$$N = 1.0 \text{ 箇所}$$

$$\text{コンクリート} \quad V = (\text{単位数量計算書より}) = 0.63 \text{ m}^3$$

$$\text{一般型枠} \quad A = (\text{単位数量計算書より}) = 4.35 \text{ m}^2$$

$$\text{化粧型枠} \quad A = (\text{単位数量計算書より}) = 0.58 \text{ m}^3$$

#### 3号小口止工

$$N = 1.0 \text{ 箇所}$$

$$\text{コンクリート} \quad V = (\text{単位数量計算書より}) = 0.79 \text{ m}^3$$

$$\text{一般型枠} \quad A = (\text{単位数量計算書より}) = 5.43 \text{ m}^2$$

$$\text{化粧型枠} \quad A = (\text{単位数量計算書より}) = 0.74 \text{ m}^3$$

#### 護床工

##### 底張ブロック

$$A = 57.7 \text{ m}^2$$

$$\text{個数} = (\text{単位数量計算書より}) \quad 57.7 \div 10.0 \times 62.5 = 360.6 \text{ 個}$$

## 4.水替え対象数量計算書

### 4-5.E箇所

測点	距離 (m)	掘削(礫質土) C			床掘(礫質土) E			埋戻し Fu			摘要
		断面積	平均	立積	断面積	平均	立積	断面積	平均	立積	
SECT 113.0		3.4			1.7			0.3			
SECT 117.0	4.0	4.4	3.90	15.6	1.8	1.75	7.0	0.3	0.30	1.2	
SECT 120.5	3.5	4.1	4.25	14.9	1.8	1.80	6.3	0.3	0.30	1.1	
計	7.5			30.5			13.3			2.3	
測点	距離 (m)	基面整正 K									摘要
		長さ	平均	面積							
SECT 113.0		0.8									
SECT 117.0	4.0	0.8	0.80	3.2							
SECT 120.5	3.5	0.8	0.80	2.8							
計	7.5			6.0							
測点	距離 (m)	3号コンクリートブロック積 SL			裏込材(RC-40) Gv			底張ブロック			摘要
		長さ	平均	面積	断面積	平均	立積	幅	平均	面積	
SECT 113.3		0.7			0.6			2.7			
SECT 117.0	3.7	1.1	0.90	3.3	0.8	0.70	2.6	2.4	2.55	9.4	
SECT 120.2	3.2	1.1	1.10	3.5	0.8	0.80	2.6	2.2	2.30	7.4	
計	6.9			6.8			5.2			16.8	

### 3-5.E箇所

#### 1号基礎工

$$L = (\text{展開図より}) = 6.9 \text{ m}$$

$$V = (\text{単位数量計算書より}) \quad 2.32 \div 10.0 \times 6.9 = 1.60 \text{ m}^3$$

#### 4号小口止工

$$N = 1.0 \text{ 箇所}$$

$$\text{コンクリート} \quad V = (\text{単位数量計算書より}) = 0.97 \text{ m}^3$$

$$\text{一般型枠} \quad A = (\text{単位数量計算書より}) = 6.60 \text{ m}^2$$

$$\text{化粧型枠} \quad A = (\text{単位数量計算書より}) = 0.90 \text{ m}^3$$

#### 5号小口止工

$$N = 1.0 \text{ 箇所}$$

$$\text{コンクリート} \quad V = (\text{単位数量計算書より}) = 1.04 \text{ m}^3$$

$$\text{一般型枠} \quad A = (\text{単位数量計算書より}) = 7.08 \text{ m}^2$$

$$\text{化粧型枠} \quad A = (\text{単位数量計算書より}) = 0.97 \text{ m}^3$$

#### 護床工 底張ブロック

$$A = 16.8 \text{ m}^2$$

$$\text{個数} = (\text{単位数量計算書より}) \quad 16.8 \div 10.0 \times 62.5 = 105.0 \text{ 個}$$

## 4.水替え対象数量計算書

### 4-6.F箇所

測点	距離 (m)	掘削(礫質土) C			床掘(礫質土) E			埋戻し Fu			摘要
		断面積	平均	立積	断面積	平均	立積	断面積	平均	立積	
SECT 178.0		1.6			0.8			0.3			
SECT 187.7	9.7	1.9	1.75	17.0	0.8	0.80	7.8	0.3	0.30	2.9	
SECT 200.8	13.1	5.2	3.55	46.5	1.5	1.15	15.1	0.3	0.30	3.9	
SECT 211.7	10.9	4.5	4.85	52.9	1.7	1.60	17.4	0.3	0.30	3.3	
SECT 223.7	12.0	4.0	4.25	51.0	1.7	1.70	20.4	0.3	0.30	3.6	
計	45.7			167.4			60.7			13.7	
測点	距離 (m)	基面整正 K						底張ブロック			摘要
		長さ	平均	面積				幅	平均	面積	
SECT 178.0		0.8						3.6			
SECT 187.7	9.7	0.8	0.80	7.8				2.1	2.85	27.6	
SECT 200.8	13.1	0.8	0.80	10.5				2.0	2.05	26.9	
SECT 211.7	10.9	0.8	0.80	8.7				2.2	2.10	22.9	
SECT 223.7	12.0	0.8	0.80	9.6				2.2	2.20	26.4	
計	45.7			36.6						103.8	
測点	距離 (m)	3号コンクリートブロック積 SL			裏込材(RC-40) Gv						摘要
		長さ	平均	面積	断面積	平均	立積				
SECT 178.3		0.0			0.1						
SECT 187.7	9.4	0.2	0.10	0.9	0.4	0.25	2.4				
SECT 193.3	5.6	0.2	0.20	1.1	0.1	0.25	1.4				
SECT 193.6		0.2			0.1	0.10	0.0				
SECT 200.8	7.2	0.0	0.10	0.7	0.1	0.10	0.7				
SECT 208.6	7.8	1.7	0.85	6.6	1.1	0.60	4.7				
SECT 208.9		1.7			1.1	1.10	0.0				
SECT 211.7	2.8	1.7	1.70	4.8	1.1	1.10	3.1				
SECT 223.4	11.7	0.8	1.25	14.6	0.6	0.85	9.9				
計	44.5			28.7			22.2				

### 3-6.F箇所

#### 1号基礎工

$$\begin{aligned} L &= (\text{展開図より}) & = & 44.5 \text{ m} \\ V &= (\text{単位数計算書より}) \quad 1.36 \div 10.0 \times 44.5 & = & 6.05 \text{ m}^3 \end{aligned}$$

#### 6号小口止工

$$\begin{aligned} \text{コンクリート} & & V &= (\text{単位数計算書より}) & = & 0.71 \text{ m}^3 \\ \text{一般型枠} & & A &= (\text{単位数計算書より}) & = & 4.89 \text{ m}^2 \\ \text{化粧型枠} & & A &= (\text{単位数計算書より}) & = & 0.66 \text{ m}^3 \end{aligned}$$

$$N = 1.0 \text{ 箇所}$$

#### 7号小口止工

$$\begin{aligned} \text{コンクリート} & & V &= (\text{単位数計算書より}) & = & 0.85 \text{ m}^3 \\ \text{一般型枠} & & A &= (\text{単位数計算書より}) & = & 5.83 \text{ m}^2 \\ \text{化粧型枠} & & A &= (\text{単位数計算書より}) & = & 0.79 \text{ m}^3 \end{aligned}$$

$$N = 1.0 \text{ 箇所}$$

#### 1号間切工

$$\begin{aligned} \text{コンクリート} & & V &= (\text{単位数計算書より}) & = & 0.94 \text{ m}^3 \\ \text{一般型枠} & & A &= (\text{単位数計算書より}) & = & 6.42 \text{ m}^2 \\ \text{化粧型枠} & & A &= (\text{単位数計算書より}) & = & 0.87 \text{ m}^3 \end{aligned}$$

$$N = 1.0 \text{ 箇所}$$

#### 2号間切工

$$\begin{aligned} \text{コンクリート} & & V &= (\text{単位数計算書より}) & = & 1.02 \text{ m}^3 \\ \text{一般型枠} & & A &= (\text{単位数計算書より}) & = & 6.95 \text{ m}^2 \\ \text{化粧型枠} & & A &= (\text{単位数計算書より}) & = & 0.95 \text{ m}^3 \end{aligned}$$

$$N = 1.0 \text{ 箇所}$$

#### 護床工 底張ブロック

$$\begin{aligned} A & & = & 103.8 \text{ m}^2 \\ \text{個数} &= (\text{単位数計算書より}) \quad 103.8 \div 10.0 \times 62.5 & = & 648.8 \text{ 個} \end{aligned}$$